

部

法

部

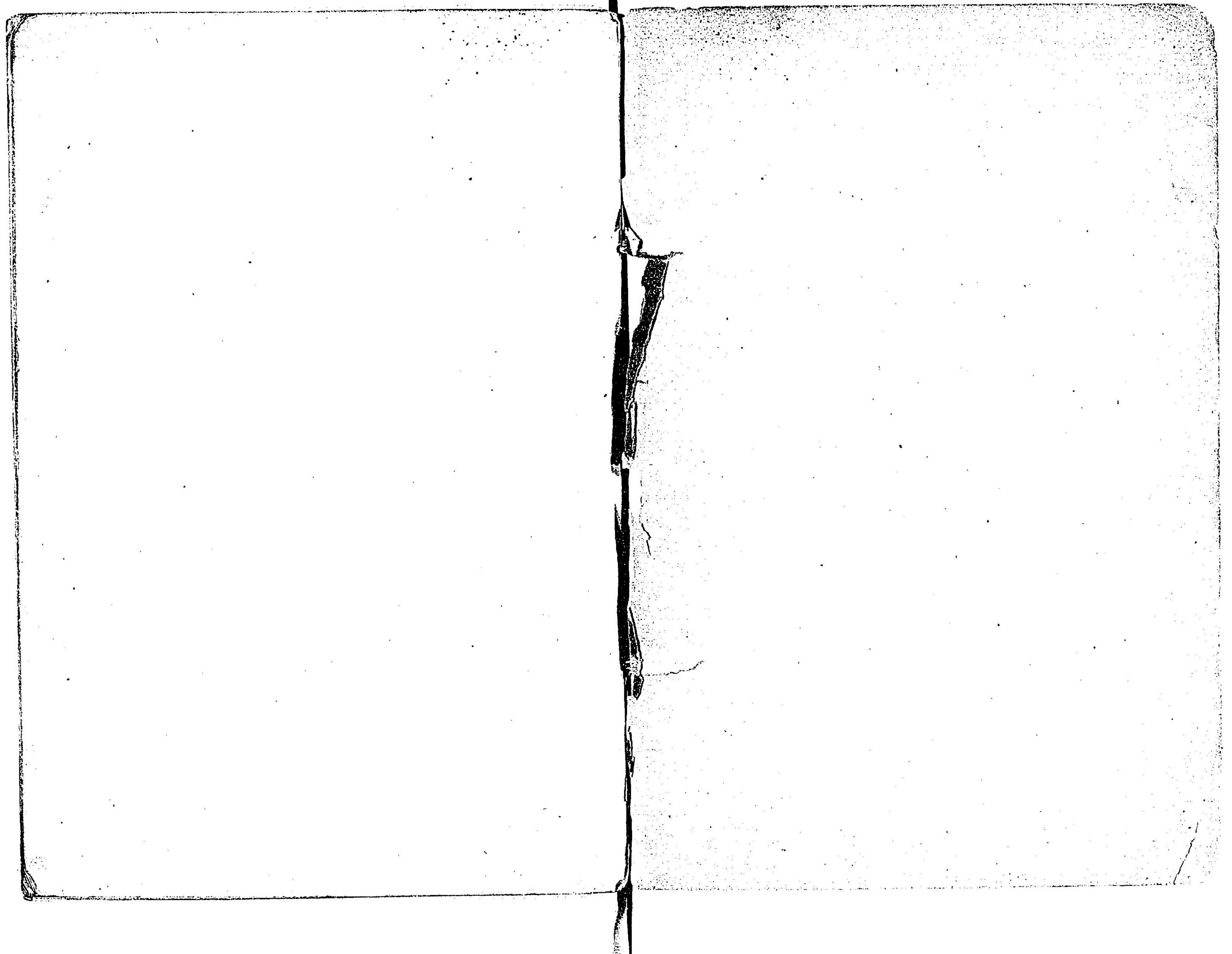
門

215

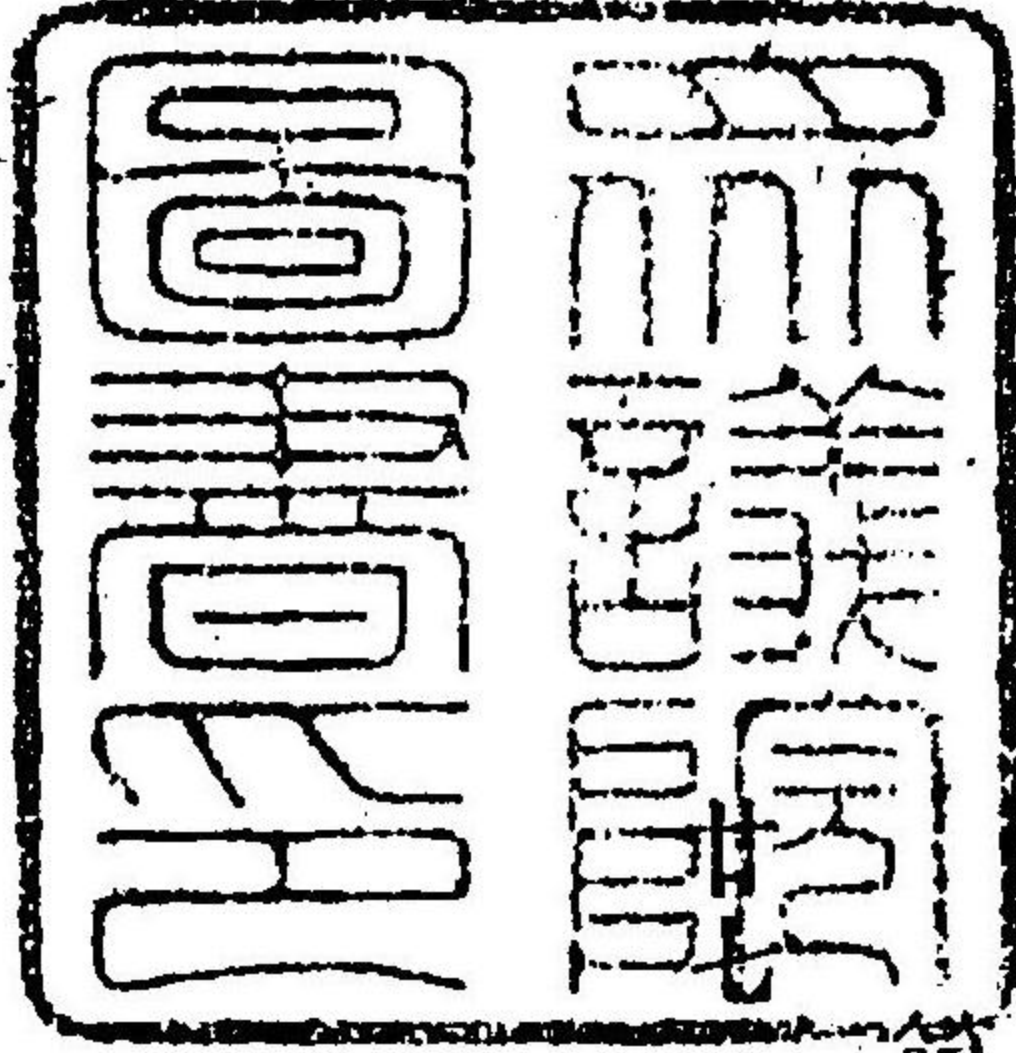
四

獨逸法律書

第四冊



C93
3
01



獨逸法律書目録

第四册

州規則 千八百七十五年
六月二十九日

第一編 州編制法 自第一條
至第八條

第二編 州團結ノ代理及ヒ行政 自第九條
至第一百十二條

第三編 州自治行政ヲ監督スル 自第一百三十一條
至第一百二十三條

廿八 郡規則 一千八百七十年十二月十三日及ヒ千八百八十一年
三月十九日改正

第一編 郡編制法 自第一條
至第二十條

第一章 郡ノ經界

第二章 郡下人民ノ權利義務

第三章 郡内ニ於テ自カラ設クルヲ得ヘキ規則

郡稅ヲ賦課スル事並内務省布達

第二編 郡ヲ分ツ事及ヒ職務自第二十一條至第七十六條

第一章 總則

郡ヲ分ツ事

第二章 村長及ヒ輔佐人ノ職務並ニ里ノ行政

附錄選舉規則

脅迫法

懲戒法

第三章 區ノ經界及ヒ區長ノ職務

第四章 郡長ノ職務

第五章 郡官署ニテ脅迫法ヲ用フル手續

廿九郡規則二

第三編 郡ノ代理及ヒ行政自第七十七條至第三百三十六條

第一章 郡會ヲ組立ル事

第二章 郡會ノ集合及ヒ職務

第三章 郡ノ會計豫算

出納局其他ノ行政ニ付キ生シタル會計不足ヲ確定シ及ヒ償還セシムル布告千八百四十四年一月二十四日

第四章 郡總代及ヒ之ヲ組立ルコト及ヒ郡總代ノ自治ニ關スル職務及ヒ國家ノ行政ニ關スル職務

第五章 郡委員ノ事

第四編 鄉自第三百三十七條至第三百三十八條

第五編 郡行政ヲ監督スル事 自第三百三十九條至第四百四十三條

附錄選舉規則

三十 邑規則 千八百五十三年五月三十日發

第一章 邑編制法ノ基礎

第二章 邑會ヲ組立ツル事及ヒ其選舉

第三章 邑官ノ組立及ヒ其選舉ノ事

第四章 邑會ノ集會及ヒ邑會ノ事務

第五章 邑官ノ職務

第六章 邑ノ官吏ノ俸給及ヒ退隱料

第七章 會計豫算ノ事

第八章 二千五百人以下ノ人口ヲ有スル邑ニ於テ合衆邑

官ヲ有セサル邑ノ憲法ヲ作ルコト

第九章 無給ニシテ奉職スヘキ義務及ヒ公權剝奪ニ因テ

職務ヲ失フ事

第十章 邑ノ行政ヲ監督スル事

第十一章 新規則ヲ施行スルニ付キ舊規則ヨリ新法ニ變遷スル方法

三十一 行政裁判編制法及手續 千八百八十一年四月一日

第一編 行政裁判所

第二編 郡行政裁判所

第三編 縣行政裁判所

第四編 上等行政裁判所

第五編 土地ニ關スル行政裁判所ノ權限及ヒ裁判官ヲ忌避

スル

第六編 始審裁判ノ手續

第七編 控訴裁判ノ手續

第八編 上告裁判ノ手續及ヒ再審裁判

第九編 裁判費用及ヒ其判決ヲ執行スル事

第十編 新法ト舊法トノ關係

三十二權限爭裁判規則千八百七十九年八月一日

千八百四十七年四月八日ノ通常裁判所ト行政官署トノ間ニ起

リタル權限爭裁判規則

三十三裁判編制法千八百七十七年一月廿七日

第一編 裁判官

第二編 裁判權限

第三編 區裁判所

第四編 ショッフエン裁判所

第五編 地方裁判所

第六編 陪審裁判

第七編 商法局

第八編 上等地方裁判所

第九編 大審院

第十編 檢事

第十一編 裁判所書記

第十二編 送達及ヒ執行官吏

第十三編 裁判所相互ノ囑託

第十四編 傍聽ヲ許スコト及ヒ公廷警察

第十五編 裁判所ノ言語

第十六編 會議及ヒ投票

三十四領事裁判規則千八百六十五年六月廿九日

第一 總則

第二 民事裁判手續ニ關スル規則

第三 刑事裁判手續ニ關スル規則

第四 附錄

三十五代官人規則千八百七十八年七月一日

第一章 代官人タルヲ得ル事

第二章 代官人ノ權利義務

第三章 代官人組合

第四章 懲戒裁判

第五章 大審院所屬ノ代官人

第六章 末則

三十六公證人規則千八百四十五年七月十一日

獨逸法律書

第四册

州トハ州内ノ郡ヨリ成立ツ者ニシテ各郡自ラ治ルコ能ハサル州内ノ自治ヲ掌ル例ヘハ大ナル建築物道路堀割ノ類ヲ云フ又州ハ一方ニ向テハ國家ノ行政ヲ掌ル其自治ノ官吏ニハ州會州總代州自治官等アリテ之ヲ掌ル國家行政ノ官吏ハ州長縣令州輔佐官及ヒ縣輔佐官アリテ之ヲ掌ル

州規則

千八百七十五年六月廿九日ニ發シタル東五州ニ行ハレル州規則
天帝ノ輔翼ヲ以テ普魯西國王タル「ウイルレム」ハ東方五州ノ爲メ兩

院ノ允許ヲ得テ左ノ條々ヲ確定ス

第一篇 州編制法ノ基礎

第一章 州ノ經界

第一條 各州ハ法律上ニ於テ人ト看做スヘキ者ノ權利ヲ有スル一團結ニシテ自ラ州内ノ事件ヲ治ム(州ノ事件ノ何タルコハ此規則ニ於テ概畧ニ其意義ヲ定メス郡ノ規則ニ於テ郡ノ事件ヲ概畧ニ定メサルト同一ナリ何故ニ規則ニ於テ事件ヲ概畧ニ定メサル者ハ之ヲ定ムルモハ州郡自治ノ進歩ヲ妨クルノ恐アレハナリ)抑州ノ自治ノ要件ハ州ノ權利義務及ヒ利益ヲ保護スルニ在リ其權利義務ノ區域ハ千八百七十五年七月八日ノ金額増給法ニ因テ大ニ擴張サレシナリ

州ハ法律上ニ於テ一人ノ人ト看做セハ其裁判管轄ハ何レニ屬スルカ訴訟法第十九條ニ因レハ法律上ノ人ト看做スヘキ者ノ所在ノ地ノ裁判所ヲ其管轄トストアリ其所在ノ地トハ財産ヲ管理スル所ヲ指スナリ然ルニ州ノ規則ニ因ルニ州總代(州ノ團結ノ長ハ則州總代ナリ)又ハ州ノ自治長ラングスマン(外ニ向テ團結ヲ代理ス)ノ所在ノ地ヲ定メス故ニ裁判管轄ヲ定ムルコトヲ得ス或ハ州ハ自ラ規則ヲ發スル權ヲ有スレハ其規則ヲシテ其所在ノ地ヲ定ムヘキノ疑アレハ一体州會ヲ召集スルコトハ獨リ國王ノ權内ニ屬スレハ州會ナクシテ之ヲ發スルコトヲ得ス是ニ於テ國王ハ千八百七十六年ニ於テ州會ヲ召集セリ則普魯西ノ州會ヲ「キヨヒスベルヒ」ニ「ブランドンブリヒ」ノ州會ヲ伯林ニ「ボンメルン」ノ州會ヲ「ステチーヌ」ニ「シユレーヂエ」ノ州

會ヲ「プレスヲウ」ニ「サクソン」ノ州會ヲ「メルゼブリヒ」ニ集會セリ
其後ハ州總代ト州自治官ハ國王ヨリ召集セラレタル所ニ各所在ヲ
定メタリ於是始メテ州ノ裁判管轄ヲ所在ノ地ニ定ムルヲ得タリ
州ノ團結ニ屬スル者ハ州内ノ郡ト及ヒ郡ニ屬スル村里トス
此規則ヲ發スル迄此州内ニテ彼ノ州ノ團結ニ屬セル郡及ヒ村里ハ
彼ノ州ヨリ離レテ此州ノ團結ニ入ルヘシ

第二條 首府伯林ハ「ブランデンブリヒ」州ノ團結ヨリ離ルヘシ（千八
八十一年四月一日ヨリ効力ヲ得ル行政編制法第一條ニ從ヘハ伯林
ハ「ブランデンブリヒ」州ヨリ離レテ一箇獨立ノ團結ヲ爲スヘシ）

第三條 第一條ニ從テ彼州ヨリ離レテ此州ニ入ル時ニ起ル雙方ノ關
係ハ內務卿之ヲ定ムヘシ但人民相互ノ民法上ノ關係ハ妨害スルコ

ナシ此時ニ生スル爭訟ハ上等行政裁判所ニ於テ判決スヘシ

州ノ經界ヲ變スル事

第四條 從前ヨリ成立タル州ノ經界ヲ變易スルニハ法律內務卿起草
シテ議院ニ
掛ケルヲ發シテ之ヲ爲スヘシ

其變易ノ爲メ起リタル雙方ノ關係ハ第三條ノ方法ニ從テ之ヲ爲ス
ヘシ

州ノ經界ヲ爲セル村又ハ里ノ經界ノ變化スルハ自然州ノ經界ヲ
變化スヘシ

法律ヲ以テ變セサル州ノ經界ノ變化ハ關係スル州ノ公告紙ヲ以テ
公告スヘシ（細小ナル土地ノ變化ニ因テ州ノ經界ヲ變スル場合ニ
ハ規則ヲ發シ變化セシムルニ及ハス止タ公告紙ヲ以テ足レリト

ス)

第二章 州内人民ノ權利義務

第五條 州内ノ人民トハ州ニ屬スル郡内ノ人民ヲ云フ(郡内ノ人民トハ土地ヲ有セサル軍人ヲ除キ郡内ニ住居スル者ヲ云フ郡規則第六條住居云々ノコヲ見合スヘシ)

州内人民ノ權利

第六條 州内ノ人民ハ左ノ權利ヲ有スヘシ

第一 此規則ニ從テ州ノ團結ノ行政及ヒ代理ニ加ハルノ權(代理ニ加ハル、權トハ州ノ選舉ニ於テ選ハル、權ト選フヘキ權ヲ云フ)

第二 州ノ團結ノ公ノ建造物ヲ使用スル權但建造物ノ爲メニ定メタル規則ニ從フヘシ但書ヲ加入タル趣意ハ州ヨリ規則ヲ發シテ或ル郡ニ限り公ノ建造物ヲ使用セ

シムルコアリ又ハ其寄附者ヨリ一定ノ人民ヲ限リ其建造物ヲ使用セシムルコアレハナリ

州税ヲ出スヘキ義務

第七條 州内人民ハ此規則ニ從テ州税ヲ出スヘキ義務アリ

郡規則ニ因レハ郡内人民ハ無給ニシテ官ヲ勤ムヘキ義務アレ此州規則ニハ之ヲ掲ケス其所以ハ州ニ於テ無給ニテ職ヲ勤ムヘシト定ムル所ハ人民カ其住所ヨリ遠ク離レテ寄留スヘキ不都合アレハナリ然レモ政府ハ必シモ法律ニ於テ其義務ヲ人民ニ負擔セスト雖モ人民ヨリ或ハ之ヲ望ンテ其職ヲ勤ムヘキノ考アレハナリ

第三章 州規則及ヒ小規則

第八條 州ノ團結ハ左ノ權利ヲ有ス

第一 此規則ニ於テ時ニ規則ヲ發ス可キコトヲ定メタル州ノ編制法

ニ係ル事件又ハ此規則ニ定メサル編制法ニ係ル事件ニ付別段ノ規則ヲ發シテ之ヲ定ムルコトヲ得其規則ハ現今ノ法律ニ抵觸スルコトヲ得ス(規則ヲ發スルコトハ州會ニ於テ之ヲ決シ(第三十五條)國王ノ許可ヲ要スヘシ(第百十九條第一)此規則ニテ特ニ規則ヲ發ス可キコトヲ定メタル場合ハ第十一條第四十六條第四十七條第三項第九十一條ノ第二項第九十三條等ヲ指ス)

第二 州ノ團結ノ建造物ニ付小規則ヲ發スルノ權アリ(其小規則ハ州會ニ於テ之ヲ決定シ(第三十五條)管轄卿ノ許可ヲ要ス(第百二十條))

州ノ規則及ヒ小規則ハ州團結ノ費用ヲ以テ州ノ公告紙ニテ

公告スヘシ

第二篇 州ノ團結ノ代理及ヒ行政

第一章 州會ヲ組立ルコト

第九條 州會ハ州内ノ郡及ヒ卿ノ議員ヨリ組立ヘシ

州會議員ノ員數

第十條 普魯西「ブランデンブリヒ」「ホンメルン」「サクソン」州ニ於テハ各郡ヨリ議員二人ヲ選舉スヘシ「シユレーヂェン」州ニ於テハ四萬人未滿ノ人口ヲ有スル各郡ヨリ議員一人、四萬人以上ノ人口ヲ有スル各郡ヨリ議員二人ヲ選フヘシ若シ各郡ノ人口カ第一「シユレイヂェン」州ニ於テ八萬人第二「東西ノ普魯西州」ニ於テハ六萬人第三「ブランデンブリヒ」「サクソン」州ニ於テハ五萬人第四「ホンメルン」

州規則

州ニ於テハ四萬人若シ各郡ニ於テ以上ノ人員ニ達シタルハ議員
三人ヲ選フヘシ

是ヨリ以上ノ人員ヲ有スル郡ニ於テハ五萬人毎トニ議員一人ヲ増
加スヘシ(各郡各郷ニ州會議員ヲ割付スル表ハ「ブラウヒツチ」氏ノ
第一篇ノ附録ヲ見ルヘシ)

第十一條 州會ハ規則ヲ發シテ各議員二人ヲ選フ所ノ互ニ接近スル
郡ヲ選舉區ニ結付ケ且選舉ノ場所ヲ定ムルコトヲ得但關係スル郡會
ノ許諾ヲ得ヘシ

「シユレ—ヂェン」州ニ於テハ前項ノ外ニ議員一人ヲ選フヘキ所ノ
郡ト議員二人ヲ選フ可キ所ノ郡トヲ選舉區ニ結付ケ並ニ議員一人
ヲ選フ二箇ノ郡又ハ三箇ノ郡ヲ選舉區ニ結付クルコトヲ得但各部互

ニ相接近スルト關係スル郡會ノ許諾ヲ得ルノ要件ヲ有スヘシ
選舉區ニ於テハ第十條ニ從ヒ合併シタル郡ニ適當シタル議員ノ數
ヲ選フヘシ

第十二條 各郡又ハ選舉區ヨリ選フヘキ議員ノ數ヲ定ムルコトハ新選
舉(第二十條第百二十二條)ヲ爲ス前ニ州總代ニ於テ之ヲ定メ州ノ
公告紙ヲ以テ之ヲ公告スヘシ

議員ノ數ヲ定ムルニ最終ノ人口調ニ據テ知り得タル郡又ハ選舉區
ノ人口ニ準据スヘシ然レモ軍人ハ人口ヨリ除クヘシ

第十三條 議員ノ數ヲ定メタルコトニ付キ其故障ヲ申立テントスルニ
ハ公告紙ヲ以テ公告シタル日ヨリ四週間内ニ州總代ニ申出ヘシ州
總代ハ之カ爲メ終審ノ決定ヲ爲スヘシ

選舉ヲ爲ス

第十四條 郡ヨリ州ニ出ス議員ハ郡會ニテ之ヲ選ムヘシ

二箇以上ノ郡カ選舉區ヲ作りタル場合ニ於テハ其選舉區ニ屬スル

郡ノ郡會ハ州長ヨリ命セラレタル選舉委員ヲ會長トシテ選舉會ヲ

開テ之ヲ選フヘシ（選舉委員ハ州長ヨリ官吏ト官吏タラサルトヲ

開ハス何人ニテモ其相當ナリトスル人ヲ命スルナリ）

第十五條 郷ヨリ州ニ出ス議員ハ郷官ト郷會郷總代會

「ライオン近傍ニ於テ

ハ郷官ト郷會トニテ郷長ヲ會頭トシテ選舉會ヲ開キ之ヲ選フヘ

シ

第十六條 州會議員ヲ選フニハ此規則ノ附録ニ定タル選舉規則ニ從

テ之ヲ爲スヘシ註（選舉規則ハ郡會議員ノ選舉規則ト異ナルコナ

シ止タ異ナル所ハ州會議員ノ選舉ニ於テハ同時ニ數人ヲ選舉スル

コヲ得然レモ選舉スル前ニ一人ツ、選フトカ或ハ數人同時ニ選フ

トカヲ預メ定ムヘシ及ヒ州會議員ノ選舉ニ於テハ官印ノ捺用シタ

ル投票紙ヲ用フルコナシ（各自隨意ニ認メテ出スヘシ名刺ニテヨシ）

又投票ノ無効タル要件カ州選舉規則ニハ細密ニ定マレリ

州會議員選舉規則

第一條 選舉官ハ州長ノ議員又ハ州長ヨリ命シタル選舉掛リ又ハ郡

長又ハ郷長又ハ其代理人（此等ハ選舉會ノ會長ト爲ルヘシ）及ヒ選

舉會ニ於テ投票權ヲ有スル者ヨリ選ハレタル參座二人又ハ四人ヨ

リ成立ヘシ選舉會ノ長ハ參座ノ内ヨリ書記一人ヲ命スヘシ

州規則

第二條 選舉會ニ於テハ討論ヲ爲シ或ハ演說ヲ爲シ或ハ互ニ評議ヲ爲スコトヲ得ス

然レモ選舉官ノ選舉ノ事件ニ付キ評議討論ヲ爲スハ格別ナリトス

第三條 投票ハ紙面ニ認メテ之ヲ爲スヘシ

第四條 投票者ヲ選舉人名簿ニ記シタル順序ニ從テ呼出ヘシ呼出サレタル者ハ投票紙ヲ折り投票壺ニ入ルヘシ

第五條 選舉ノ始リタル後出席シタル者ハ其選舉ニ加ハルコトヲ得ス投票ノ終リタル後ハ選舉官ヨリ投票ノ終リタルコトヲ告クヘシ選舉會ノ長ハ投票紙ヲ一枚ツ、投票壺ヨリ引出シ其記シタル氏名ヲ讀上クヘシ參座ノ一人ハ其投票ノ數ヲ明カニ算ヘ上ケヘシ

第六條 左ノ場合ニ於テハ投票ノ無効ナルモノトス

一 投票紙ニ氏名ヲ記サ、ルカ又ハ文字ノ讀ミ難キ時

二 投票紙ニ記シタル人ノ不明ナル時

三 投票紙ニ選舉スヘキ員數ヨリ多クノ氏名ヲ記シ又ハ選舉ヲ受クヘキ要件ヲ有セサル人ノ氏名ヲ記シタル時

四 投票紙ニ故障又ハ趣意ヲ記シタル時

第七條 都テ無効ノ投票紙ハ投票ヲ爲サ、ル者ト看做スヘシ投票紙ノ効アルヤ否ニ付テハ選舉官ニ於テ先ツ之ヲ決定ス投票紙ハ選舉調書ニ添ヘテ選舉手續ニ付申立タル故障ノ終審決定アルマテ之ヲ保存スヘシ

第八條 多數ヲ得タル者ヲ選舉セラレ、者トス

若シ多數ノ投票ヲ得サル時ハ多クノ投票ヲ得タル者二人ヲ選ヒ更

ニ之ヲ投票セシム若シ同數ナルハ選舉長ニテ抽籤ヲ以テ更ニ選舉スヘキ人ヲ定ムヘシ更ニ選舉スルモ仍ホ同數ナルハ亦抽籤ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第九條 選舉調書ニハ選舉官之ヲ手署スヘシ

第十條 選舉會ノ長ハ其選舉セラレタル人ニ選舉セラレ、ノ旨ヲ通知シ遅クモ五日ノ内ニ承諾スルヤ否ヤヲ申述ヘシムヘシ若シ期限内ニ申出サル者ハ承諾セサル者ト看做スヘシ(以上ハ郡郷ニ於テ爲ス選舉)

第十一條 州會ニ於テ爲スヘキ選舉ハ投票紙ヲ用ヒス可否ヲ表スルコトヲ得(手ヲ上クルトカ又ハ聲ヲ發スルコト)但故障ヲ申立テサルハニ限ル

議員ト爲ル可キ者ノ要件

第十七條 州會ノ議員ニ選舉セラレ、ニハ獨立セル獨逸人(自ラ財産ヲ支配ス)ニシテ滿二十歳以上ニシテ公權ヲ有シ少クモ一年間州内ニ土地家屋ヲ有スル歟又ハ住居スル者ニ限ルヘシ(千八百七十六年四月廿五日ノ上等行政裁判所ノ判決ニ因レハ第十七條ノ第一項ノ一年間土地家屋ヲ有スルカ又ハ住居スルノ要件半年ハ土地家屋ヲ有シ半年ハ住居スレハ十分ナリトス故ニ一タヒ州内人民ト爲リタル者ハ同時ニ土地家屋ヲ失ヒ且住居スルコトヲ止ムルニ非サレハ州内人民タルノ性質ヲ失フコトナシ)

獨立スル者トハ裁判所ノ命令ニ因リ財産ヲ管理スルコトノ權ヲ禁セサル者ヲ云フ

議員ニ選舉セラルヘキ要件ヲ失フ

第十八條 前條ニ掲タル要件ノ一ヲ失ヒタルハ直チニ選舉セラル、ノ要件ヲ失ヒタル者トス又其要件ハ家資分散ノ際重罪又ハ輕罪ノ爲メ公權ヲ剝奪ス可キノ罪ノ爲メ審問中又ハ未決拘留ノ間ハ之ヲ停止スヘシ

議員選舉年限

第十九條 州會議員ハ六年ノ年限ヲ以テ選ハルヘシ

其選舉ハ第十七條ノ要件ノ一ヲ全ク失フカ又ハ一時失ヒタルハ終身又ハ一時其選舉ノ効ヲ失フヘシ州會ハ此場合ニ於テ其選舉ノ効ヲ失フヘキモノナルヤ否ヲ決定スヘシ

選舉ノ期日及ヒ場所等ヲ定ル

第二十條 州會ノ選舉ノ期日場所等ハ州長ニテ之ヲ定ムヘシ

第二十一條 新タニ選ハレタル議員ノ氏名ハ州長ヨリ州ノ公告紙ヲ

以テ之ヲ公告スヘシ

新タニ選舉セラレタル議員ヲ議場ニ導クハ州會ノ議長之ヲ爲ス

ヘシ

補闕選舉ノ

第二十二條 選舉期限内ニ退職シタル議員ノ補闕選舉ハ退職シタル

議員ヲ選ヒタル同一ノ郡及ヒ又ハ選舉區ニテ之ヲ爲スヘシ

補闕選舉ハ遅クモ六ヶ月内及ヒ成ルヘク次ノ州會前ニ之ヲ爲スヘ

シ補闕選舉ニテ選ハレタル議員ハ退職シタル者ノ期限内其職ニ止

マルヘシ

選舉ノ手續ニ付故障申立テ及ヒ選舉ノ効力ノ有無ニ付裁定

第二十三條 選舉ノ手續ニ付テハ選舉會ニ加ハリタル者ヨリ二週間内ニ選舉官ノ長ニ故障ヲ申立ルコトヲ得其故障ハ前以テ關係者ヲ聞糺シタル上州會ニテ之ヲ決スヘシ又州會ハ職權ヲ以テ議員ノ選舉ニ適當シタルヤ否ヲ檢査決定スヘシ

第二十四條 第十九條及ヒ前條ニ從テ爲シタル州會ノ決定ニ對シテハ二週間内ニ上等行政裁判所ニ訴訟ヲ爲スコトヲ得其訴訟ハ州會ノ決定ヲ中止スルコトヲ得ス然レモ上等行政裁判所ノ判決アルマテハ補闕選舉ヲ爲スコトヲ得ス(州會ハ裁判所ニ於テ其權利ヲ保護スルカ爲メニ代理人ヲ選フコトヲ得若シ州會ニテ代理人ヲ選ハサルモハ第五十八條ニ從ヒ州總代ニテ州會ヲ代理スヘキ者トスヘシ決シテ

州會ノ議長又ハ州自治官ニ因テ代理スル者トス可カラス千八百七十六年五月二日ノ上等行政裁判所ノ判決)

第二章 州會ノ集會

州會ヲ召集スルコト

第二十五條 州會ハ少クモ二年毎ニ一度國王ヨリ之ヲ召集ス然レモ事務ノ都合ニ因リ之ヨリ多ク召集スルコトアリ

第二十六條 州會議員ヲ召集シ及ヒ其會ヲ開閉スルコトハ州長ニテ國王ノ代理者トシテ之ヲ爲シ又ハ州長ノ代ニ國王ヨリ命シタル者ヨリ之ヲ爲スコトアリ

州會ト國王ノ代理者トノ關係

第二十三條 國王ノ代理者ハ州會ト政府官署トノ間ニ立テ其事情ヲ

交通スヘシ

代理人ハ州會ニ政府ノ法案ヲ提出シ且州會ヨリ出シタル意見書ヲ
受收ス

國王ノ代理人及ヒ代理人ヲ代理セシムル爲メカ又ハ輔佐スル爲メ
ニ州會ニ派出シタル政府ノ官吏ハ議事ニ加ハリ且州會ヨリ議事ヲ
準備スル爲メ設ケタル委員會ノ議事ニ加フルノ權アリ是等ノ官吏
ハ何時ニテモ其發議ヲ爲スコヲ得

州會ハ傍聽ヲ許スコ

第二十八條 州會ノ會議ハ傍聽ヲ許スヘシ或事件ニ就テハ特別ニ決
議シテ傍聽ヲ差止ルコアリ

州會ノ決議

第二十九條 州會ハ第十條ニ定メタル議員ノ半數以上出席スルニ非

サレハ決議ヲ爲スコヲ得ス

投票ヲ爲サル者モ亦出席シタル者ト爲ス

過半數ニ因テ決議ヲ爲スコ

第三十條 州會ハ過半數ニ因テ決議ヲ爲スヘシ過半數ハ投票ヲ爲サ

サル者ヲ除キ之ヲ算フヘシ可不同意ナルトハ否ト決スヘシ

州總代及ヒ州自治官及ヒ州自治官ニ屬スル州ノ官吏ノ州會議

事ニ加ハルコ

第三十一條 州總代州自治官及ヒ其屬官(第八十七條第九十三條)ハ

州會ニ加ハリテ止タ討論ヲ爲スコヲ得但是等ノ官吏ノ州會議員ニ

アラサル時トス

州規則

州會ハ州總代州自治官及ヒ其屬官ニ私ノ關係アル事件ニ就テハ是等ノ官吏ヲ議事ニ加ハラシメスシテ會議ヲ開クヘキコトヲ決議スルコトヲ得但此等ノ官吏ノ州會議員ニ非サルトス

州會ノ議長及ヒ其代理人ヲ選フコト

第三十二條 州會ハ假リニ年長ナル議員ヲ長ト爲シ年少ナル者議員二人ヲ書記及ヒ投票ノ數ヲ計フル者トシ此規則ニ附録シタル選舉規則ニ從テ議長及ヒ議長ノ代理人ヲ選フヘシ此等ノ者ハ其會議開日中及ヒ次ノ州會ヲ開クマテ其職ニ止マルヘシ

州會ノ事務規則

第三十三條 議長ハ會議ヲ總理シ會議ヲ開閉シ會議ヲ整頓シ傍聽人ヲ退席セシムルノ權アリ其他ハ州會ニテ事務規則ヲ作り其事務ヲ

定ムヘシ

第三章 州會ノ事務

① 一般ノ事務

第三十四條 州會ハ(評議ヲ爲シ政府ヨリ意見ヲ問ハル、ト又ハ決議ヲ爲ス權アリ)左ノ事務ヲ主トルヘシ

第一 政府ヨリ意見ヲ問フ爲メニ出シタル州ニ關スル法案及ヒ其他ノ事件ニ付キ意見ヲ述フルコト

第二 州ノ團結ヲ代理スルコト

(州總代ノ團結ヲ代理スルコトハ法律規則ニ從テ州ノ團結ノ事件專ラ財産及ヒ建物ヲ代理スルノ意義ヲ以代理ス州ノ自治長ノ代理スルコトハ團結ヲ他ニ對シテ代理スルナリ州會ノ團結ヲ代理ス

ルコハ管下全民ヲ代理スルコナリ

及ヒ此規則ニ掲クル州ノ事件ヲ評議シ又ハ決定スルコ

又ハ法律若クハ國王ノ布告ニ因テ已ニ州ニ委托セラレタル事件

又ハ將來法律ヲ以テ委托セラレヘキ事件ヲ評議シ又ハ決定スル

コ

⑤ 各箇ノ事務

第三十五條 州會ノ權ニ屬スル事務ハ率子左ニ掲クルモノトス

第一 第八條ニ掲クル規則又ハ小規則ヲ發スルコニ付キ決定ヲ爲

スコ

第三十六條 二州會ハ州ノ團結ヨリ取立テ政府ヘ納ムヘキ金額ノ

徵收法ノ法律ニ定メナキモノヲ如何ナル方法ヲ以テ賦科スヘキヤ

ヲ決定スルコ(「ナボレヲン」ノ戰爭後ニ用金ヲ言付タルノ類)

第三十七條 三州會ハ其義務ヲ盡スカ爲メナルカ又ハ其利益ヲ計

ルカ爲メニ必要スル出費ニ付キ決定スルコ

其決定ハ左ノ如シ

一 千八百七十五年七月八日ノ法律ニ從テ政府出納局ヨリシテ州

ノ團結ニ給シタル年金又ハ資本ヲ支用スルコニ付キ決定スル

コ

二 州團結ノ現金及ヒ不動産ヨリ生スル所得ノ支用並ニ現金ノ支

用ヲ決議スルコ

三 負債ヲ起シ又ハ保證(人民又ハ郡區等ニテ負債等ヲ起スル保

證ヲ爲スコ)ヲ爲スコニ付決定スルコ(負債ヲ起シ及ヒ保證ヲ

州規則

爲スコハ必ス内務卿ノ許可ヲ要ス第百十九條第三見合)

四 州費取立ヲ決定スルコ(州費取立ノ決議ハ内務卿ト大藏卿トノ許可ヲ要ス第百十九條第四第五ヲ見合)

第三十八條 四州會ハ土地及ヒ土地附着ノ權利ヲ賣却スルコニ付キ決定ヲ爲スコ又州規則ニ因テ或ル建築物管理ノ爲メ値卑キ土地ヲ賣却スル權ヲ州總代ニ委任スルヲ得(土地ヲ買フコヲ茲ニ掲ケサルモノハ政府草按ニハ買フコヲ記載シタレトモ議院ニ於テ之ヲ除ケリ何トナレハ買フコヲ州會ニテ議スルモハ之カ爲メ土地ノ價ヲ増スノ恐レアリ且第三ノ二ノ處ニ支用ニ付キ決定ストアレハ自カラ其内ニ含蓄スレハ削リタルナリ)

第三十九條 五州會ハ計算ノ方法及ヒ出納局ヲ設ケ又ハ會計豫算

表ヲ作り又ハ前年度ノ會計精算ノ義務ヲ免カレシムルコニ付キ決定ス(第百一條第百四條見合)

第四十條 六州會ハ州ノ事件ヲ管理スル爲メニ規則ヲ決定スルコ

第四十一條 七州會ハ州ノ官吏ヲ設クルコニ付キ決定シ又州會ハ官吏ノ員數及ヒ俸給並任命ノ方法(終身又ハ何年又ハ備等)ヲ決定シ又ハ自治長及ヒ其附屬官吏(第九十三條)其他州ノ規則ニ掲ケタル或ル自治事件ヲ主トル官吏(第八十七條第九十三條ヨリ第九十五條)ヲ選舉スルコ

第四十二條 八州會ハ州總代ノ選舉ヲ爲シ及ヒ別段ノ法律ニ從テ國家行政ノ爲メニ官吏及ヒ委員ヲ選フコ(行政裁判所ノ人民ヨリ選ハル、裁判官又ハ分等收入稅取立委員或ハ徵兵委員等ノ類)

州會ハ又自治ノ爲メニ委員ヲ命スヘシ(第九十九條見合)

(州輔佐官及ヒ縣輔佐官ノ選舉ハ州會ニ於テ之ヲ爲サスシテ州總代ニ於テ之ヲ爲スヘシ第六十二條第六十七條見合)

此選舉ヲ爲スニハ此規則ニ附録スル選舉規則(第十條)ニ從テ之ヲ爲スヘシ其選舉手續ニ付キテハ二十四時間内ニ州會議長ニ故障申立ヲ爲スコトヲ得其故障ニ付テハ州會ニテ終審ノ裁定ヲ爲スヘシ

第四十三條 九州會ハ州ノ全部又ハ一部ニ係ル事件ニ付歎願及ヒ故障ヲ政府ニ申立ルノ權アリ

第四十四條 十、前數條ノ外ニ州會ハ法律ニ因テ委托セラレタル事務ヲ掌ルヘシ

第四章 州總代及其組立並事務

州總代ノ位地

第四十五條 州總代ノ事務ヲ管理セシムルカ爲メニ州ニハ州總代ヲ置ク(州總代ハ是故ニ州自治ノ事ヲ管理スルノミ郡總代ノ如ク同時ニ國家ノ事務ヲ主ルコトナシ止々國家ノコトニ關スル事ハ州輔佐官縣輔佐官ヲ選舉スルコトニ付間接ノ關係ヲ持ツノミ)

州總代ヲ組立ルコト

第四十六條 州總代ハ其長一人ト州規則ニ因テ定ムヘキ人員ヨリ成ル其人員ハ少クモ七人以上(多クモ)十三人ヲ越ユ可カラス(長ト自治官ヲ加フレハ十五人トナル)

其外州ノ自治官ハ職務上州總代ノ一人ニ加ハルヘシ

普魯西ノ州ニ於テハ千八百七十六年一月十二日十九日ノ州規則ニ

州總代ヲ十三人其代理人ヲ十三人ト定メタリ「ブランデンブリヒ」州ニ於テハ千八百七十六年一月四日十日ニ州規則ヲ發シ州總代ヲ九人其代理人九人ト定メタリ「ボンメルン」州ニテハ千八百七十六年一月十二日十五日ニ州規則ヲ發シ州總代十一人代理人十一人ト定メタリ「シユレイヂエン」州ニ於テハ千八百七十六年一月十四日五月十一日ニ州規則ヲ發シ州總代ヲ十一人其代理人ヲ八人ト定メタリ「プロビシツサクソン」ニ於テハ千八百七十六年一月五日十二日ニ規則ヲ發シ州總代十三人代理人七人ト定メタリ

州總代ノ長及ヒ州總代ヲ選フ

第四十七條 州總代ノ長及ヒ州總代ハ州會ニ於テ之ヲ選フヘシ又州會ハ又總代ノ内ヨリ總代長ノ代理人ヲ選ムヘシ

又州總代ノ代理人ヲ少クモ其全員ノ半數ヲ選フ可シ

代理人數並代理スヘキ順序ハ(此順序ハ州會長ヨリ前以テ抽籤ヲ定メ置キ順番ニ代理セシム)州規則ニ因テ之ヲ定ムヘシ

何人ニテモ州會議員ニ選ハルヘキ獨逸人ハ州總代ニ選ハルヘシ

(第十七條見合)

州總代ニ選舉ス可カラサル者ハ州長縣令副州長並都テノ州ノ官吏(州縣官署ノ一地方ニ在ルルハ縣令ト名ケスシテ副州長ト云フ)州ノ自治長ハ州總代ノ長又ハ其代理人ニモ選フコトヲ得ス

第四十八條 州總代長州總代及ヒ是等ノ代理人ノ選舉ハ六年ノ期限ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

其選舉ハ選舉セラルヘキ要件ノ一ヲ全ク失フカ又ハ一時止ミタリ

シキハ全ク其効ヲ失ヒ又ハ一時其効ヲ失フヘシ(第十八條見合)

此場合ニ於テ州總代ハ選舉ノ効ヲ失フヤ否ヲ決定スヘシ州總代ノ決定ニ對シテハ第二十四條ニ從テ上等行政裁判所ニ訴フルコトヲ得

第四十九條 每三年ニ選舉セラレタル州總代(長ヲ除ク)及ヒ代理人ノ半數ヲ退職セシメ新タニ其半數ヲ選舉スヘシ但退職シタル者ハ何レノ場合ニ於テモ新ニ選ハレタル者ノ議席ニ就クマテハ其職ニ止マルヘシ

其選ハレタル人員及ヒ代理人ノ員數端數ナルキハ最初ニ人數ノ多キ方ヲ退職セシムヘシ最初ニ退職スヘキ者ハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ムヘシ其退職シタル者ハ再ヒ選ハル、コトヲ得

第五十條 選舉期限中ニ退職シタル者又ハ退職シタル代理人ノ爲メ

ニハ補闕選舉ヲ爲スヘシ

補闕選舉ハ州會ノ開キ次第之ヲ爲スヘシ補闕選舉ニ付キ選ハレタル者ハ其退職シタル者ノ期限中其職ニ止マルヘシ

第五十一條 州總代ノ長ハ州長ニ誓約ヲ爲シ州長ニ因テ議場ニ導カ
ルヘシ其他ノ總代ハ州總代長ニ誓約ヲ爲シ總代長ニ因テ議場ニ導
カルヘシ

是等ノ者ニ於テ行政官ヲ職務ヨリ退カシムルト同一ノ所爲アルキ
ハ懲戒裁判ノ手續ヲ以テ其職務ヲ退カシムルコトヲ得(千八百五十
二年七月廿一日行政官懲戒法第二條)

懲戒裁判ニ付テハ第九十八條第五ニ從テ州自治長ニ對シ使用スヘ
キ規則ヲ適用スヘシ

州總代ヲ召集スルコト

第五十二條 州總代ハ事務ノ起ル毎ニ集會スヘシ之ヲ召集スルハ州總代長ヨリ爲スヘシ又州自治長ヨリ書面ヲ以テ申立ルカ又ハ總代ノ半數ヨリ書面ヲ以テ申立タルモハ總代長ヨリ之ヲ召集スヘシ州總代ノ決議ニ因テ通常會ノ期限ヲ定ムルコトヲ得

州總代會ノ事務

第五十三條 州總代ハ長ヲ合セテ半數以上出席スルニ非サレハ決議ヲ爲スコトヲ得ス

其決議ハ多數ヲ以テ爲スヘシ可否同數ナルモハ總代長之ヲ決スヘシ

第五十四條 會議スヘキ事件ノ總代中ノ者ニ私ノ關係アルカ又ハ總

代中ノ者ニ尊屬卑屬ノ血族姻屬又ハ傍系三度ニ至ルマテノ關係アルモハ其事件ニ付其總代ハ討論及ヒ決議ニ加ハルコトヲ得ス(郡規則第百三十二條見合)總代中ノ者曾テ私ノ性質ヲ以テ意見ヲ發シタル事件又ハ擔當人代理人等ノ名義ヲ以テ關係シタル事件ニ付テハ其會議ニ加ハルコトヲ得ス(郡總代トハ異ナレリ州總代ハ止々私ノ事ノミ其會議ニ參ハルヲ得サレモ政府ノ爲メ意見ヲ述ヘタルコトニ付テハ其會ニ參ハルコトヲ得)

第五十五條 前條ニ從ヒ其會議ニ加ハルコトヲ得サル者アルカ爲メ半數以上ノ人員ニ不足ヲ生シ決議ヲ爲スコトヲ得ス且總代ノ代理人ヲ召集スルモ仍ホ決議ヲ爲スコト能ハサル場合ニハ州會ニテ決議スヘシ

其決議ヲ州會ノ開クマテ待ツコトヲ得サルモハ州長ニテ總代中其事
件ニ關係ナキ者及ヒ其代理人並ニ州會議員ヨリ別段ノ委員ヲ命ス
ヘシ此委員ハ州總代ノ總數ト同シキ員數ヲ以テ組立ツヘシ

第五十六條 州會議長及ヒ州自治官ニ屬スル官吏第八十七條 州總
第九十三條ハ州總
代會ニ加ハリテ討論スルコトヲ得但州總代會ハ州自治長ニ私ノ關係
アル事件又ハ州自治官ノ屬官ニ私ノ關係アル事件ニ付テハ是等ノ
者ヲ會議ニ加ハラシメサルコトヲ決議スルコトヲ得

第五十七條 州總代會ハ事務章程ヲ作り其事務ヲ執行スヘシ其章程
ハ州會ノ許可ヲ得ヘシ

州總代ノ事務

第五十八條 州總代ハ左ノ事務ヲ掌トルヘシ

第一州總代ハ州會ノ議ニ付スヘキ事件ヲ準備シ且之ヲ施行ス然レ
モ法律又ハ州會ノ決議ニ因テ準備及ヒ施行別段ノ委員又ハ官吏
ニ命セサルモニ限ルヘシ

第五十九條 第二州總代ハ法律及ヒ國王ノ布告及ヒ州會ニテ決シタ
ル規則並ニ州會ニテ決シタル會計豫算表ニ從テ州團結ノ事件及ヒ
最モ其財産及ヒ建築物ヲ管理スヘシ

第六十條 第三州總代ハ州會ヨリ命セサル他ノ官吏ヲ命シ及ヒ州ノ
官吏ノ事務ヲ總轄スヘシ(第四十一條ノ官吏ヲ含ム)

第六十一條 第四州總代ハ諸省ノ卿又ハ州長ヨリ委託セラレシ事件
ニ付キ其意見ヲ述ヘシ

第五章 州輔佐官縣輔佐官及ヒ其編制事務(行政編制法ヲ揭

ケリ)第六十二條ヨリ第八十六條マテハ廢止シタリ

第六章 州ノ官吏(第五章州輔佐官縣輔佐官ノ職務ナリ是ハ

廢シ當時改正中ナレハ今之ヲ除ク)

州自治長ノ事

第八十七條 州ノ自治ニ管スル日ヤノ事務ヲ掌ラシメンカ爲メニ州自治長ヲ命スヘシ州自治長ハ州會ニ於テ少クモ六年多クモ十二年ノ期限ヲ以テ之ヲ選舉スヘシ(第十七條ニ掲ケタル要件ヲ備フル者ヨリ選舉スルナリ)

州ノ自治長ハ國王ノ認可ヲ得ヘシ若シ認可ヲ得サルモハ州會ニ於テ再ヒ他ノ選舉ヲ爲スヘシ再選舉ニ於テ仍ホ認可ヲ得サルモハ内務卿ヨリ派出委員ヲ命シ州ノ費用ヲ以テ州自治長ノ職務ヲ代任セ

シム若シ州會ニ於テ再選舉ヲ爲スコトヲ拒ムカ又ハ國王ヨリ認可セサル人ヲ再ヒ選舉シタル時モ亦内務卿ヨリ派出委員ヲ命シ代任セシム

派出委員ノ職務ハ州會ノ選舉スル所ノ州自治長ノ國王ヨリ認可セラルマテ繼續スルモノトス但州會ハ何時ニテモ州自治長ノ選舉ヲ爲スコトヲ得

州總代ハ又派出委員タルヘキ相當ノ人ヲ申立ルコトヲ得

第八十八條 州ノ自治長ニ故障アルカ又ハ其職務ヲ退キタルモハ州會ヨリシテ前條ニ從ヒ州自治長ヲ選舉スルカ又ハ派出委員ヲ命スルマテ自治長ノ代理人ヲ命スヘシ

派出委員及ヒ自治長ノ代理人ハ其名義ノミヲ以テハ總代會ニ於テ

決議權ヲ有セス

第八十九條 州自治長ハ州長ヨリ其職ニ導キ及ヒ州長ノ面前ニ於テ誓約ヲ爲スヘシ

第九十條 州自治長ハ州總代ノ監督ヲ受ケ州内日用自治ニ關スル事務ヲ主トルヘシ又州總代ノ決議シタル事件ヲ執行スヘシ

州自治長ハ州ノ官吏(第六章中ノ官吏ヲ云フ)ノ長官タルヘシ(州長ハ政府ノ官吏ナリ自治長ハ間接官吏ナリ)

州自治長ハ如何ナル事件ニ付テモ他ニ對シ州ノ團結ノ代理ヲ爲スヘシ法律ニ於テ特別ノ委任ヲ要スヘキ場合モ亦然リ(例ヘハ土地ヲ賣買スルニ本人ノ特別ノ委任ヲ要スヘシトアルモ自治長ハ團結ニハ代理ヲ爲セハ土地賣買ニテモ委任ヲ要セス)故ニ自治長ハ州

團結ノ名ヲ以テ官署及ヒ人民ト接對シ文書往復ヲ爲シ及ヒ一切ノ書面ニ手署スヘシ

第九十一條 州團結ニ義務ヲ負ハスヘキ證書ニハ州會又ハ州總代會ノ決議ヲ記載シ州自治長ト州總代二人之ニ手署シ且州自治長ノ官印ヲ捺用スヘシ若シ其證書ノ政府ノ監督官(内務卿州長縣令)ノ許可ヲ要スヘキ場合ニハ證書ノ公正ナル寫ヲ書面ニ添ヘ差出スヘシ州會ハ或ル自治事件及ヒ建築物ニ付キ其證書及ヒ委任スヘキ事件ノ執行ヲ簡略ニセンカ爲メ別段ナル規則ヲ設クルコトヲ得(前項ノ手續ヲ簡畧ニスル爲メナリ)

第九十二條 州自治長ハ州ノ自治事件ニ付キ郡區村ノ官吏ニ依頼シテ協議ヲ乞ヒ及ヒ其意見ヲ聞クノ權アリ

州自治長ニ屬スル官吏

第九十三條 州ノ自治ニ關スル事件ノ全部ヲ掌ラシムルカ爲メ又ハ州ノ自治事件ノ一部ヲ掌ラシムルカ爲メ州ヨリ發スル規則ニ從テ州會ヨリ官吏ヲ選ヒ之ヲ州ノ自治長ニ屬スルコトヲ得其官吏ハ或ハ討論ノミノ權ヲ有シ或ハ決定ヲ爲ス權ヲ有セシムルコトアリ（此官吏ハ各州ニ凡ソ二人ヲ置ク則法律家建築家ノ類ナリ）

州自治長ニ屬スル官吏ノ決定ノ權ヲ有スルハ州ヨリ發スル規則ニ因テ州自治長ノ事務ノ如何ナル件（法律建築道路火難ノ「サクソン」ニテハ二人ノ外更ニ二人ノ官吏ヲ置キ決定ノ權ヲ有セシメタリ）

州自治ノ出納役及ヒ書記ノ「

第九十四條 州自治ノ出納及ヒ記録ヲ掌ラシムルカ爲メ必要ナル屬吏ハ州總代ノ申立ニ因リ州會ヨリ其員數及ヒ俸給及ヒ任命ノ方法（終身又ハ傭又ハ、期月ヲ定メ）ヲ會計豫算表ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

是等ノ官吏ハ州總代ヨリ之ヲ命ス可シ但第四十一條ハ格別ナリトス其官吏ハ州自治長ヨリ之ヲ（第四十一條ノ州ノ官吏ハ州會ニテ選舉スレト此官吏ハ總代ヨリ命スルノ違ヒアルコトヲ云フ）其職務ニ導キ州自治長ノ面前ニ於テ誓約ヲ爲スヘシ又其官吏ハ州總代ヨリ事務取扱方ヲ受クヘシ

州建築物盲目院產婆院病院學校
道路貧窮院狂癲院ノ類ニ關スル官吏

第九十五條 州ノ建築物及ヒ道路ヲ管理セシムルカ爲メ必要ナル官吏及ヒ是等ノ官吏ヲ任スル方法ニ付テハ其建築物道路等ノ爲メ發

スル規則又ハ夫レカ爲メ豫シメ定ムル會計豫算表ニ因テ之ヲ定ムヘシ

新規則(建築物等ノ規則)發スルマテハ都テ從前ノ規則ニ從フヘシ

州官吏ノ職務上ノ關係

第九十六條 都テ州ノ官吏ハ政府ノ間接官吏ノ權利義務ヲ有セリ

(政府官吏ノ直ニ命シタル官吏ハ間接ナリ茲ハ間接官吏ヨリ命シタル官吏ナレハ則政府直接官吏ヨリ命シタル間接官吏ト同一ノ權利義務ヲ有スルナリ例ヘハ内務卿ヨリ其屬官ヲ命スルハ則政府ノ間接官吏ナリ)

其官吏ノ職務上ノ關係ハ州會ヨリ發スヘキ規則ニ因テ詳細ニ之ヲ

定ムヘシ

第九十七條 軍人ヲ州ノ官吏ニ命スルコトニ付テハ卿ノ爲メ發シタル規則ニ從フヘシ(軍人ヲ州ノ官吏ニ命スルコトハ其軍人ノ軍務ニ堪ヘサル怪我病氣等ニ爲リタル者ヲ成ルヘク州官吏ニ任スルナリ)

第九十八條 州ノ官吏ノ職務上所犯ニ付テハ千八百五十二年七月廿一日ノ懲戒法ヲ適用スヘシ但左ニ掲ケタル如ク之ヲ折衷スヘシ

第一 州自治長及ヒ第四十一條ニ掲ケタル官吏ニ對シテハ退職裁判手續ヲ以テスルニ非サレハ懲罰ヲ科スルコトヲ得ス

第二 其他ノ州官吏ニ對シテハ諸省ノ卿及ヒ州ノ官署ニ附與シタルカ如キ同一ノ權ヲ以テ自治長ヨリ之ヲ懲罰スヘシ但シ罰金ハ三十「マルク」ヲ越ユ可カラス

第三 州ノ建築掛長ハ其屬官ニ對シ十「マルク」マテノ罰金ヲ科スルコトヲ得但第九十五條ニ掲ケタル官吏ニハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第四 州自治長及ヒ建築掛ノ長ノ懲戒ニ對シテハ二週間内ニ縣行政裁判所ニ訴フルコトヲ得

第五 退職裁判ノ手續ニ於テハ州自治長ニテ縣令ノ爲スヘキコトヲ行ヒ若シ州自治長又ハ第四十一條ニ掲クル官吏ニ對スル裁判ニ於テハ内務卿之ヲ行フ縣廳又ハ伯林懲戒裁判所ノ代リニハ縣行政裁判所又内閣ノ代リニハ上等行政裁判所ニテ其裁判ヲ爲スヘシ

縣行政裁判所及ヒ上等行政裁判所ノ檢事ノ職務ヲ勤ムル者

ハ内務卿之ヲ命スヘシ其裁判ハ對審ヲ以テ爲スヘシ又其裁判ハ伯林懲戒裁判所ノ意見ヲ問フニ及ハス

豫審ノ終リタル後懲戒スヘキ事件ノ明カナラサル時ハ縣行政裁判所ノ決定ニ因テ其裁判ヲ中止スルコトヲ得

第六 千八百五十二年七月廿一日ノ懲戒法第十六條及ヒ第一ノ規則ハ又之ヲ州ノ官吏ニモ適用スヘシ但第四十一條ニ掲クル官吏ハ格別ナリトス

第二章 州委員ノ事

第九十九條 建築物ヲ管理及ヒ監督セシムルカ爲メ及ヒ州ノ自治事件ノ一部ヲ管理セシムルカ爲メ別段ノ委員ヲ設クルコトヲ得其委員ヲ設クルコト及ヒ其權限並ニ組立方ニ付テハ州會ニ於テ之ヲ決定ス

ヘシ其委員ノ選舉ハ州總代ニテ之ヲ爲スヘシ但州會ニ於テ其委員
ヲ選舉ス可キハ格別ナリトス

委員ハ州總代ヨリ其事務取扱方ヲ受ケ且其事務ニ付テハ州總代ノ
監督ヲ受クヘシ

雜則

第百條 州會議員州總代人及ヒ州委員並州輔佐官縣輔佐官ハ其立替
金ニ應スル償金ヲ受取ルヘシ其金高ハ州會ニテ之ヲ決定スヘシ

第八章 州會計豫算

州會計豫算表ヲ作り及ヒ確定スルコト

第百一條 總テ出入高ニ付キ州總代ニ於テ一年又ハ數年ノ爲メニ會
計豫算表ヲ作ルヘシ其豫算表ハ州會ニ於テ之ヲ決定シ州ノ公告紙

ヲ以テ之ヲ公告スヘシ

第百二條 州總代ハ會計豫算表ト共ニ州ノ自治事件ニ關スル行政及

ヒ州内ノ景況ニ付キ明細書ヲ州會ニ差出スヘシ

第百三條 州總代又ハ州總代ノ決議ヲ施行スルコトニ付キ州自治長ハ

會計豫算表ニ從テ出納ヲ爲スコトニ注意スヘシ

州自治長ハ出入ノコトニ付キ州ノ自治出納局ニ命令ヲ下スコトヲ得
(會計豫算表ニ從テ某院ヘハ幾許某局ヘハ幾許出金スヘキコトヲ命
令ス)

會計豫算表ニ定ムルヨリ多ク出ス可キ及ヒ臨時ノ費用ヲ出ス可
キ場合ニハ州總代ニテ之ヲ責任シ州會ノ許可ヲ要ス可シ

第百四條 州ノ自治出納局ノ精算並ニ各建物ニ付キ設ケタル出納課

ノ精算ハ出納掛ヨリ前年度ノ終リタル日ヨリ四ヶ月間ニ之ヲ作り
之ヲ州總代ニ差出スヘシ

州總代ハ其精算ノ検査ヲ爲シ且之ニ其意見ヲ添ヘテ州會ニ差出シ
州會ニテ之ヲ検査決定シ及ヒ出納掛ノ義務ヲ免カレシムヘシ然ル
後ハ其精算書ヲ拔萃シ公告紙ヲ以テ公告スヘシ

州税ヲ科スルコト

第百五條 州會ハ州税ヲ科スヘキコトヲ決定スルコトヲ得

州税ヲ科スルコトニ付別ニ規則ヲ發スルマテハ左ニ掲クル條件ヲ適
用スヘシ

州税ヲ割付及ヒ取立ルコト

第百六條 州税ハ各郡各郷ニ之ヲ割付クヘシ其割付方ハ政府ノ直接

税ヲ本トシテ割付ク可ク而シテ行商ノ營業税ニ割付ク可カラス

第百七條 州税ヲ賦科スルニハ千八百七十二年十二月十三日ノ郡規

則第十四條ヨリ第十六條マテ及ヒ千八百五十三年五月三十日ノ邑

規則第四條ノ第三項ニ從ヒ收入土地家屋營業礦業ニ附加スル郡税

又ハ邑税ニ從テ賦科スヘシ併ナカラ郡税邑税ノ全部又ハ一部ヲ免

カル、者及ヒ軍人ニハ州税ヲ科スルコトヲ得ス（郡規則第十七條第

十八條邑規則第四條第七項以下）

第百八條 各郡各郷ニ於テ負擔スヘキ州税ヲ取立ルニハ郡税及ヒ邑

税ニ等シク千八百七十二年十二月十三日ノ郡規則及ヒ千八百五十

三年五月三十日ノ邑規則ニ從テ之ヲ取立ヘシ

州内ノ或ル部ニ税ヲ多ク又ハ少ク科スルコト

州規則

第九條 若シ州ノ建築物著シク州内ノ一部ニ用立ヲ爲シ又ハ僅少ニ用立ヲ爲スキハ州會ハ其郡ニ科スヘキ州稅ヲ増減スルコトヲ得其州稅ヲ増加シテ科スルキハ州會ニテ其増加ノ分ハ之ヲ物件力役ニ換フルコトヲ得

第十條 州總代ハ各郡各郷ニ州稅ヲ割付クヘシ州會ニテ決シタル州稅ノ高並其州稅ヲ各郡各郷ニ割付クルコトハ公告紙ヲ以テ公告スヘシ其公告ニハ道路ニ關スル州稅ノ高ハ別段ニ掲ケ示スヘシ各郡各郷ニ於テ道路ニ關スル州稅ヲ取立ツルコトニ就テハ千八百七十二年十二月十三日ノ郡規則第十二條ノ一項ニ從フヘシ(他ノ郡費ヨリハ多ク取立ルコトヲ得ルナリ)

州費ヲ科スルコトニ付キ故障

第十一條 州費ヲ科スルコトニ付キ郡郷ヨリ申立タル故障ハ州總代ニテ之ヲ決定スヘシ其故障ハ公告シタル後四週間内ニ州總代ニ申立ツヘシ(此故障ハ郡ヨリ申立ルノミニシテ人民ヨリハ申立ルコトヲ得ス併ナカラ郡ヨリ村ニ割付ケタル村ハ村ヨリ郡ニ故障ヲ申立テ又ハ人民ヨリ直ニ郡ニ故障申立ヲ爲スコトヲ得是レ州郡ノ異ナル所ナリ)

州總代ノ決定ニ對シテハ二週間内ニ縣行政裁判所ニ訴フルコトヲ得
第十二條 州稅ハ故障又ハ訴アルトニ拘ハラヌ其定メタル期日ニ之ヲ拂フヘシ然レモ其事件ノ決定アル後其過剩ノ分ハ之ヲ返却スヘキコトハ勿論ナリトス

第三篇 州ノ自治行政ヲ監督スルコト

州規則

第百十三條 州ノ自治行政ニ付テハ此規則ニ從テ州長其上ニハ内務卿アリ之ヲ監督ス

内務卿ヘ對スル故障ハ二週間内(州長ニ對シテハ期限ナシ)ニ申立ツヘシ

第百十四條 監督官ハ以上ノニ此規則ニ定メタル方法ヲ以テ州ノ自治ノ此規則ニ背馳セサル様及ヒ其自治ヲ整頓スヘキ様監督ヲ爲スヘシ

第百十五條 監督官ハ監督ノ爲メ自治ノ事柄ニ付キ其詳細ヲ差出サシメ及ヒ書類ヲ檢閲シ最モ會計豫算表會計精算表ヲ檢閲シ且其事務ノ施行及ヒ出納局ヲ實驗スルヲ得

第百十六條 州長ハ自カラ州總代及ヒ州委員ノ評議ニ加ハルカ又ハ

政府(州ノ政府ノ官吏)ノ官員ヲ派出シテ其評議ニ加ハラシムルヲ得

第百十七條 州長ハ州會州總代會州委員會州輔佐官縣輔佐官ノ權限ヲ越エタル決定及ヒ法律ニ背キタル決定ニ對シ理由ヲ付シタル命令ヲ發シテ之ヲ差止ル權アリ場合ニ因テハ内務卿ノ指圖ニ因テ差止ルヲアリ

州長ノ命令ニ對シテハ州會州總代州委員ヨリ二週間内ニ上等行政裁判所ニ訴フルヲ得是等ノ者ハ裁判ノ爲メ別段ノ代理人ヲ命スルヲ得

第百十八條 州會ニテ左ニ掲クル事件ニ付キ決定ヲ爲シタルハ

第一 第八條第一及ヒ第三十五條ニ從テ州内ヘ規則ヲ發シタルハ

第二 第一百十條ニ從テ州内ノ一部ニ稅額ヲ増減シタルル
 第三 負債ヲ起シ又ハ從前ノ負債ヲ増加スルル又ハ保證ヲ爲シタルル

第四 直接國稅ノ總額ノ百分ノ二十五以上ノ州稅ヲ課シタルル

第五 法律上ノ義務ナキ州稅ヲ新ニ課シタルル但其稅ノ五ケ年以

上連續セシル

第一ノ場合ニ於テハ國王ノ許可ヲ要シ第二第三ノ場合ニ於テハ内務卿ノ許可ヲ要シ第四第五ノ場合ニ於テハ内務大藏兩卿ノ許可ヲ要スヘシ

第一百十九條 其他州會ニ於テ第八條第二第三十五條及ヒ第九十五條ニ從テ左ニ掲クル州ノ建築物ニ關スル規則ヲ決定シタルルハ其管

轄卿ノ許可ヲ要ス

第一 州貧窮院 及ヒ懲治場 貧窮人ハ村ニテ養フ所ノ

第二 狂病院 聾啞院 盲目院 痴呆院

第三 產婆學校

第四 救助局 互ニ出金シテ貸附所

第五 保險局

但其規則ニテ左ニ掲クル方法ヲ定ムルルニ限リ許可ヲ要スルナリ

① 第一第二ノ場合ニ於テ其貧窮民不正ノ子供、狂癲、聾啞、盲目、痴呆ヲ入院セシメ及ヒ之ヲ取扱フ方法及ヒ退院セシメ及ヒ之ヲ教育セシムル方法

③ 第三ノ場合ニ於テハ産婆生ヲ入門セシメ及ヒ之ヲ教育シ及ヒ之ヲ試験スル方法

④ 第四ノ場合ニ於テハ貸附ヲ爲スノ方法

⑤ 第五ノ場合ニ於テハ其編制及ヒ管理スル方法

並ニ第九十六條ニ掲ケタル州ノ官吏ノ權利義務ニ關スル規則ニ官吏ノ任免及ヒ退隱料ヲ定ムルキハ内務卿ノ許可ヲ要ス

第二百十條 州ニ於テ官署ヨリ其權限ヲ以テ定メタル法律上ノ義務

ヲ會計豫算表ニ掲ケルコト又ハ臨時ニ之ヲ許可スルコトヲ怠ルカ又ハ拒ムキハ州長ハ理由ヲ付シタル命令ヲ發シテ之ヲ會計豫算表ニ掲ケシメ又ハ臨時費ヲ決定セシムヘシ

州長ノ命令ニ對シテハ二週間内ニ州ヨリ上等行政裁判所ニ訴フル

コトヲ得

州會ハ裁判ノ爲メ別段ノ代理人ヲ命スルコトヲ得

州會ヲ解散スルコト

第二百一十一條 内閣ノ申立ニ因リ國王ヨリ布告ヲ出シテ州會ヲ解散

スルコトヲ得其解散ヲ命シタルトハ其日ヨリ三ヶ月内ニ新選舉ヲ爲スヘシ新タニ選ハレタル議員ハ解散ノ日ヨリ六ヶ月内ニ之ヲ召集スヘシ

州會ヲ解散シタル場合ニ於テハ州會ヨリ選ハレタル州總代及ヒ州委員ハ新タニ選ハレタル議員ノ集會アルマテ其職ニ止マルヘシ

郡規則一

普魯士國ノ編制ハ之ヲ諸州ニ分ツ州ニハ州長一人アリ州長ノ職
掌ハ專ラ州内ノ保護及ヒ病院等ノ都テ行政ニ屬スル事件ヲ監督ス

(州長ハ行政官ニシテ諸省ノ卿ト等シキ權ヲ有セリ州務總裁ナル者
州長ノ外ニ一人アリ其職務ハ專ラ州内ノ事件ノミヲ掌ル)

州ノ下ニ「レギールング」ト云フ一箇ノ行政廳アリ其長官ヲ「レギール
ングスプレシデント」ト云フ其職務ヲ三種ニ分ツ一内務事件(内
縣令務事件トハ婚姻生死產婆等其事柄多シ其詳細ハ本條ヲ參看スヘシ)

二寺務學校ノ事件三租稅土地田畠山林ノ事件

「レギールング」ノ下ニ郡アリ其組立ハ郡長郡總代(郡内ノ人民ヨリ
撰舉シタル者)郡會ニ因テ郡内ノ事務ヲ管理ス郡ハ邑區

ヨリ成立チ法律上ニ於テ人ト看做シ人タルノ權利ヲ有セリ(邑ノ人口二万五千人以上アルキハ郷ト爲ルノ權アリ邑郷ノ組立ハ別ニ法律アリ茲ニ詳解セス)區ノ組立ハ區長區ノ總代アリ區長ハ州長ヨリ六年間ノ期限ヲ以テ之ヲ選舉ス其職務ハ區内ノ事務ヲ掌ル

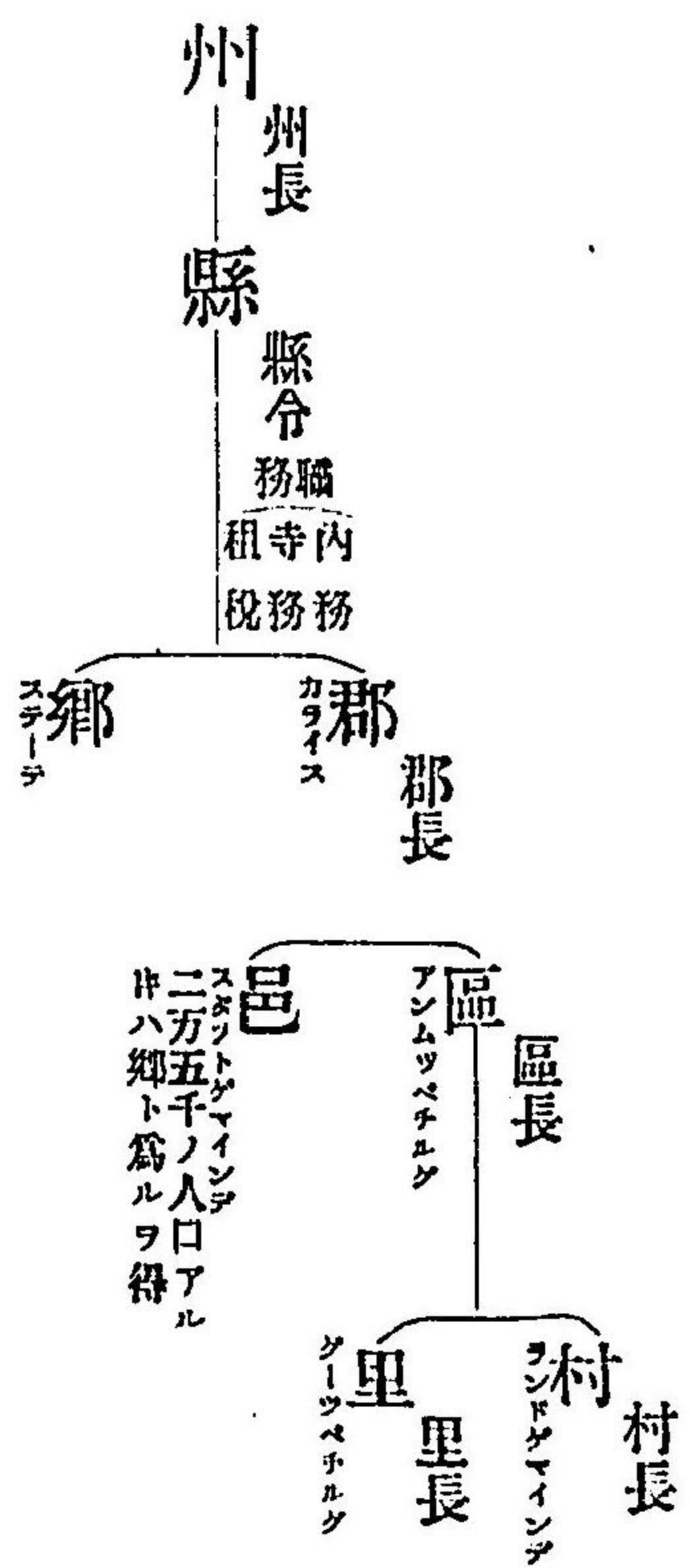
區ノ下ニ村 里アリ村ノ組立ハ村長及其輔佐二人アリ管内警察ノ事務及村内ノ事務ヲ掌ル里ノ組立ハ里長アリ自己ノ土地ヲ所有シ郡長ヨリ選舉ス可キ者トス其職務ハ自己ノ所有地内ノ事務ヲ掌ル

區長村長里長トハ都テ郡長ノ指揮ヲ受クヘシ

州長ノ職務ヲ輔佐スル爲メ「プロビンチユアルラート」ト稱スル官

州次官

アリ又縣令ヲ輔佐スル爲メ「ベチルグスラート」ト稱スル官アリ州内自治ノ事務ニ付テハ州長縣令ニ對シ併立ス可キ「セルプストヘル」ト稱スル自治長ト「プロビンチユアルラントダーク」ト云フ州會ニ因テ編制セリ州會ハ二年毎ニ一回開會セリ



千八百七十二年十二月十三日ニ發行ス

天帝ノ輔翼ヲ以テ普魯西國ノ王タル朕「ウイルレム」ハ兩院ノ允許ニ因テ普魯西「ブランデンブルヒ」「ボンメルン」「ポーゼン」「シユレイジエ」ニ「サクソン」諸州ノ爲メニ左ニ掲クル箇條ヲ確定ス

第一篇 郡編制法ノ基礎

第一章 郡ノ經界

第一條 郡ハ現今ノ經界ニ因テ行政ノ區畫ト爲ス「故」ノ如シ

第二條 各郡ハ此規則ニ從ヒ郡内ノ事件ニ於テハ自治ノ一團結ヲ爲シ法律上ニ於テ人ト看做ス可キノ權利ヲ有ス（法律上ニ於テ人ト看做ストハ假令ハ人ヨリ成立ツト物ヨリ成立ツトアリ人ヨリ成

立ツトハ郡村ノ如キハ人ヨリ成立ルナリ即郡ヨリ訴訟ヲ起シ又ハ訴訟セラル、コアリ物ヨリ成立ツトハ病院ノ如キナリ是モ訴訟ヲ起シ又ハ訴訟セラル、コアリ）

郡ノ經界ヲ變スル「コ」及ヒ新タニ郡ヲ作ル事

第三條 從前ノ郡ノ經界ヲ變シ及ヒ新ニ一郡ヲ作り又ハ數郡ヲ一郡

ニ合併スル「コ」ハ都テ法律ニ從ハサレハ之ヲ爲スコ「コ」ヲ得ス

縣輔佐官ハ如此變化ノ爲メニ必用ナル關係スル郡ノ間ノ財産及ヒ負債ノ分配ヲ裁定スヘシ其後此郡ヨリ彼ノ郡ニ對シ縣行政裁判所ニ訴フル「コ」ヲ得

村又ハ里ノ經界カ郡ノ經界ト同一ノ經界ナリシ「キ」其變化ニ因リ並ニ從來村又ハ里ニ屬セサル土地ヲ郡内ノ村又ハ里ニ合併スルニ因

リ郡ノ經界モ亦隨テ變易スヘシ若シ郡ノ經界ト議員撰舉ノ經界ト同一ナルキ郡ノ經界變易スルキハ議員撰舉ノ經界モ亦變易ス可シ」都テ郡ノ經界ヲ變易スルキハ郡ノ公告紙ヲ以テ之ヲ公告ス可シ

郡ヨリ邑ヲ離シテ郷ト爲ス場合

第四條 軍人ヲ除キ少クトモ二萬五千人ノ人口ヲ有シ現時郡ニ屬スル邑ハ獨立シテ一郷ト成リ所屬ノ郡ヨリ離ル、ノ權アリ
邑ヨリ郷ヲ作ルニハ邑ヨリ之ヲ申立内務卿ヨリ従前ノ郡ヨリ離レ獨立シタルコトヲ言渡ス可シ

國王ノ布告ヲ以テハ二萬五千人ニ滿サル邑ト雖モ別段ノ事情アレハ州會ノ意見ヲ聞キタル後從來ノ郡ヨリ離シテ新ニ郷ヲ作ルコトヲ許スヲ得

但何ノ場合ニ於テモ預メ財産及ヒ負債ノ配當方ニ付キ舊郡ト新郷ト協議ス可シ協議トハ離ル、所ノ邑カ従前ノ郡内共通財産及ヒ負債ニ付キ幾分ヲ擔任ス可キヤ茲ニ將來雙方ノ共通目的(道普請又ハ雙方ニ係ル負債若クハ學校ヲ保續スルノ類)ヲ達スル爲メニ獨立ス可キ郷ノ如何ナル義務ヲ負フ可キコトヲ協議スルナリ
縣輔佐官ハ財産及ヒ負債ノ關係ヲ裁定スヘシ但其後此郡ヨリ彼郡ヲ縣行政裁判所ニ訴フルコトヲ得

例「シヤロテンブリヒ」千八百七十四年ニ一萬二千「マルク」ヲ「テルト」郡ニ償却シテ「テルト」ヨリ離レタルキ雙方協議調ハスシテ遂ニ行政裁判所ニ出訴シタリ然レモ「シヤロテンブリヒ」ハ敗訴シテ遂ニ一萬二千「マルク」ヲ出セシ「ア」

第五條 郡ノ經界ヲ變易スルトモ人民一己ノ民法上ノ關係ニハ波及スルコトナシ

第二章 郡下ノ人民ノ權利義務

第六條 郡内ニ土地家屋ヲ有セサル軍人ヲ除クノ外郡内ニ住所ヲ有スル者ハ土地家屋ヲ有セスト雖モ郡下ノ人民ト爲シ其義務ヲ負フ可キ者トス

軍人ニテモ土地家屋ヲ有スル者ハ郡内ノ人民ト同シク租稅其他ノ義務ヲ免カル、コトヲ得ス
住所ヲ有スル者トハ明カニ村長邑長或ハ區長ニ住所ヲ報告シ或ハ商業ヲ營ミ又ハ官吏ト爲リ又ハ一家ヲ有ツヘキ家財ヲ貯ヘテ寄留スル者ノ類ヲ云フ

現今訴訟法ニ依レハ軍人ノ住所トハ軍營所在ノ郡内ヲ軍人ノ住所トス

郡内ニ住所ヲ有セスト雖モ租稅ヲ拂フコトアリ假令ヘハ會社ノ如キ製造所ヲ他ノ郡内ニ有スルトハ其會社ハ他ノ郡内ニ於テ住所ハ有セスト雖モ其租稅ヲ拂ハサル可カラズ

管下人民ノ權利

第七條 管内ノ人民ハ此規則ニ從テ郡ノ行政ニ參シ及ヒ郡會議員ヲ選舉シ又ハ之ニ選舉セララル、ノ權アリ

郡内ニ設置シタル公ケノ建造物（金ヲ預リ又ハ抵當ヲ取テ金ヲ貸シ若クハ病院學校救育所消防等ヲ含蓄ス）ヲ共ニ使用スルノ權アリ

管下人民ノ義務

①管下人民ハ無給ニシテ職務ヲ勤ム可キ義務

第八條 管下ノ人民ハ郡ノ行政ニ參シ及ヒ郡會議員ヲ選舉シ又ハ之ニ選舉セラル、事ニ付キ無給ニシテ其職務ヲ勤ムルノ義務アリトス(無給ノ職務トハ郡總代又ハ郡會議員ト爲リ或ハ邑長區長村長ト爲ルコトヲ云フ右等ノ職務ヲ拒ミ又ハ定期年限内ニ其職務ヲ辭スルニハ左ノ事理ナケレハ之ヲ拒辭スルコトヲ得ス

第一 病癒

第二 常ニ一住所ニ止マルコトヲ得サル職業ヲ有スル者

第三 六十歳ニ至リシ者

第四 政府ノ直接官吏タル者(俸給ヲ取ル官吏ヲ云フ)

第五 郡會ヨリ已ムコトヲ得サル事情アリト認メシ者

例ヘハ家内ニ疾病事故アリ或ハ職業ノ繁忙又ハ極貧ナル者ノ類

然レモ三年以上ノ定期アル職務ヲ勤メ三年ヲ越ユルハ自ラ其職務ヲ辭スルコトヲ得

以上ニ記載スル無給ノ職務ヲ規則ニ定メタル年限間勤メ終リシ者ハ其後三年間ハ以前ト同一ノ職務又ハ同一ニ非ストモ同種類ノ職務ヲ勤ルヲ拒ムコトヲ得

第一項以下ノ理由ナクシテ其職務ヲ拒ムカ又ハ定期年限内ニ自カラ其職務ヲ辭スルカ或ハ郡總代ヨリ督責ヲ受クルモ仍ホ其職務ヲ怠リシ者ハ三年ヨリ六年マテ郡ノ行政ニ參シ及ヒ撰舉被撰舉ノ權

利ヲ失ヒ且他ノ管内人民ヨリ八分一ヨリ四分一ニ至ル所ノ多キ郡
税ヲ出サシム可シ

郡會ノ決議ニ對シテハ二週間内ニ縣行政裁判所ニ訴フルコトヲ得

㊦郡税ヲ出ス可キ義務

第九條 郡會ニ於テ郡費ヲ郡ノ財産又ハ其他ノ收入金ヨリ仕拂フ可
カラスト決議シタル者ハ管下ノ人民ハ別ニ其郡費ヲ出ス可キノ義
務アリトス

郡税ヲ賦課スル事

郡税賦課ノ方法ハ國税ノ方法ニ關涉スルヲ以テ預メ茲ニ國税賦課
ノ概略ヲ説明セン抑普魯西國ニ於テハ國税ノ種類ニアリーヲ直接
國税トシ一ヲ間接國税トス直接國税トハ地租家屋税(土地家屋ヨ

インシレクサストイニヤ

リ生スル所ノ純益)分等税分等收入税又ハ營業税等ヲ云フ間接税
トハ消費物ニ科スルコトヲ云フ例ヘハ烟草砂糖税ノ類

公ケノ建造物ハ家屋税ヲ拂ハス又公有私有ニ拘ハラズ鐵道ノ線ニ
當ル土地ハ地租ヲ賦課セス

建造物ニ賦課スル税額ハ人ノ住居スル家屋ハ純益ノ百分ノ四製造
場ノ用ニ供スル家屋ハ百分ノ二トス家屋土地ノ實價ヲ登記スル官
署アリ之ヲ簡記役所ト云ヒ其官吏ヲ簡記官ト云フ(裁判所内ニア
カキストルファンム
カキストルファンム
カキストルファンム
ルモノナリ)

土地家屋ノ税額ハ十五年毎ニ之ヲ改正ス(千八百七十九年ニ改正
ヒシコアリ其以前ハ十九「ミリユンマルク」ノ額ナリシカ其後ハ二
十六「ミリユン」ト成レリ)

營業稅ニモ二種アリ坐商稅行商稅トス坐商稅ヲ分テ三種トス第一
 ①ハ豪商ヲ云フ例ヘハ銀行商間屋商運送商ノ類第二②ハ以上ノ商
 業ヲ小ニシテ爲ス者ヲ云フ③ハ骨董店古衣古銅店野菜店手細工人
 (店ニ丁稚二人以上ヲ有スル者ヲ指ス)等ヲ云フ

鐵道ハ其純益ヨリシテ營業稅ヲ拂フヘシ分等稅ト分等收入稅トア
 リ是ハ人ノ財産俸給營業等ノ收入高ニ應シ科スルナリ
 分等稅ハ四千二百十萬ニ定メ其等級ヲ十二部ニ分ツ是ヨリ多ク入
 ルキハ之ヲ總躰ニ割戻スヘシ其賦課高ハ四百二十「マルク」以上三千
 「マルク」以下ノ一年ノ收入高ニ科スルナリ家族多人數ナル歟或ハ多
 病ニシテ定稅ヲ出シ難キ者ハ至當ノ減稅法ヲ何レノ等ニ於テモ行
 フヘシ(例ヘハ四百二十「マルク」ヨリ六百六十「マルク」マテハ三「マ

ルク」ノ稅ヲ拂フ六百六十「マルク」ヨリ九百「マルク」マテハ六「マル
 ク」九百「マルク」ヨリ千五十「マルク」マテハ九「マルク」千五十「マルク」
 ヨリ千二百「マルク」マテハ十二「マルク」千二百「マルク」ヨリ千三百五
 十「マルク」マテハ十八「マルク」千三百五十「マルク」ヨリ千五百「マル
 ク」マテハ二十四「マルク」千五百「マルク」ヨリ千六百「マルク」マテハ三
 十「マルク」千六百ヨリ千八百マテハ三十六「マルク」千八百ヨリ二千百
 マテハ四十二「マルク」二千百ヨリ二千四百マテハ四十八「マルク」二千
 四百ヨリ二千七百マテハ六十二「マルク」二千七百ヨリ三千マテハ七十
 二「マルク」乃チ十二等ノ分等稅ナリ分等稅ハ四億二十一萬ト定メリ
 分等收入稅ハ三千「マルク」ヨリ始リ其極度ハ制限ナシ且分等稅ノ
 如キ預メ定額ヲ定メス又家族多ク又ハ多病ナリト雖モ只其始メノ

一二等ノミヲ減稅ス則チ二等ノ者ハ一等ノ稅ヲ出シ一等ノ者ハ分等財產稅ヲ拂フナリ

三千「マルク」ヨリ三千六百「マルク」マテハ九十「マルク」三千六百
 ヨリ四千二百マテハ百八「マルク」四千二百ヨリ四千八百マテハ
 百二十六「マルク」五千四百マテハ百四十四「マルク」六千マテ
 百六十「マルク」七千二百マテハ百八十「マルク」八千四百マテ二百
 十六「マルク」九千六百マテ二百五十二「マルク」一萬八百マテ二
 百八十八「マルク」一萬二千マテ三百二十四「マルク」一萬四千四
 百マテ三百六十「マルク」一萬六千八百マテ四百三十二「マルク」
 一萬九千二百マテ五百四「マルク」二萬千六百マテ五百七十六
 「マルク」二萬五千二百マテ六百四十八「マルク」二萬八千八百マ

テ七百五十六「マルク」三萬二千四百マテ八百六十四「マルク」三
 萬六千マテ九百七十二「マルク」四萬二千マテ千八十「マルク」四萬
 八千マテ千二百六十「マルク」五萬四千マテ千四百四十「マルク」六
 萬マテ千六百二十「マルク」七萬二千マテ千八百「マルク」八萬四
 千マテ二千百六十「マルク」九萬六千マテ二千五百二十「マルク」
 十萬八千マテ二千八百八十「マルク」十二萬マテ三千二百四十「マ
 ルク」十四萬四千マテ三千六百「マルク」十六萬八千マテ四千三百
 二十七「マルク」二十萬四千マテ五千四十七「マルク」二十四萬マテ六千
 百二十「マルク」三十萬マテ七千二百「マルク」三十六萬マテ九千
 「マルク」四十二萬マテ一萬八百「マルク」四十八萬マテ一萬二千六
 百「マルク」五十四萬マテ一萬四千四百「マルク」六十萬マテ一萬六

千二百「マルク」六十六萬マテ一萬八千「マルク」七十二萬マテ一萬九千八百「マルク」七十二萬マテ一萬九千八百「マルク」七十八萬マテ二萬千六百「マルク」夫ヨリ六萬ノ額カ増加スルニ付キ千八百「マルク」ツ、ヲ増加ス

千八百七十三年マテハ穀肉税ナルモノアレヒ已ニ之ヲ廢シ分等税ヲ設ケタリ國税ヲ科スルカ如ク郡モ亦郡税ヲ科シ直接郡税ト間接郡税トアリ直接ハ例ヘハ貸家税ノコトキモノヲ指シ間接トハ例ヘ肉税ノ類ヲ指ス是等ハ國税ノ直接税ニ準シ附加シテ科スルナリ此税ヲ郡税トス

第十條 郡税ヲ科スルニハ管下人民ノ拂フ可キ直接國税ヲ適度ニ比準シテ附加シテ科スヘシ但他管ニ住居スル人(製造場所有主ノ如

キ場所ハ甲郡ニアルトモ所有主ハ乙郡ニ住居スルノ類)及ヒ法律上ニ於テ人ト看做ス可キ者等ハ第十四條及ヒ第十五條ニ從ヒ假定シタル税額ヲ適度トシテ科ス可シ

地税家屋税及ヒ營業税(邑内ノ營業者ハ別ニ定メタリ)第一(A)ノ等ニ屬スル者(郡税ノ)分等税及ヒ分等收入税ニ附加シタル郡税ノ部合半額以上ヨリ全額ニ至ルマテヲ科セラル可シ

其他ノ營業税(其他トハ(A)第二及ヒ(B)ヲ云フ)ニハ郡税ヲ科セサルコトモアリ之ヲ科スルトモ地税家屋税ヨリ多ク科ス可カラズ但行商ニハ營業税ヲ科スルコトナシ(千八百七十四年六月十日ニ發シタル郡税賦課ニ付テノ内務省布達(二)郡規則ノ第十條ニ從ヘハ地税家屋税及ヒ(A)第一ノ營業税(邑ヲ除ク)ニハ分等税及ヒ分等收入税ニ附

加スル郡税ノ部合ノ半額ヨリ全額マテノ郡税ヲ科スヘシトアリ此規則ノ言語及ヒ意味ニ從ヘハ家屋税地税及ヒ(一)第一ノ營業税ニハ常ニ同一ノ部合ヲ以テ郡税ヲ科ス可シト理解セサル可カラス是故ニ例ヘハ地税ト家屋税トニハ百ニ付キ五十ナレハ(二)第一ノ營業税ニハ百ニ付キ百ノ郡税ヲ科スルコトヲ許サス(三)郡規則第十條ニ從ヘハ其他ノ營業税ニハ全ク郡税ヲ科セサルコトアリ之ヲ科スルトモ地税家屋税ヨリ多クノ部合ヲ以テ科スルコトヲ得ストアリ(四)第一ノ營業者及ヒ其他ノ營業者ニ道路ニ關スル郡税ヲ科シタルト雖モ之カ爲メ其他ノ郡税ヲ免スルコトヲ得ス何トナレハ郡規則第十二條ニ從ヘハ郡會ハ道路ノ事ニ付キ地税家屋税並ニ(一)第一ノ營業税ヨリ(邑ヲ除ク)第十條ニ定メタル制限ヲ以テ他ノ郡税ヨリ高キ部合ヲ

以テ郡税ヲ科スル權アレハナリ)
分等税一等ハ「千八百五十一年五月一日及ヒ千八百七十三年五月二十五日ノ法律第七條及ヒ普國法律全書千八百七十三年ノ二百十三帖以下」全ク郡費ヲ免スルコトアリ又ハ其他ノ等級及ヒ分等收入税ヨリ僅カナル部合ヲ以テ科スルコトアリ其法律第九條(一)ノ規則ハ亦茲ニ適用スヘシ(千八百七十三年九條分等税ヲ本トシテ取立ヘキ團結ノ費用ナレハ四百二十一マルク)以下ノ收入アルモノト雖モ別ニ免スヘキ理由ナク且窮民救助ヲ受ケサル者ニハ之ヲ科スルコトヲ得但假リニ「マルク」五十「ヘニヒ」ノ分等税ヲ拂フ者ト看做シテ科スヘシ)

第十一條 郡税豫算高ヲ各村里毎ニ割付クルニハ前條ノ規則ニ從ヒ

郡規則一

郡會ニ於テ決シタル賦課法ヲ用フ可シ各村里ハ同一ノ賦課法(第十條ヲ指ス)ニ從ヒ各納稅者ニ賦課シ其稅ヲ徵收シタル上ニテ其全額ヲ郡ノ自治出納局ニ納ム可シ(カライスアブガーベンソルトハ郡稅豫算高ヲ預メ定メ取立ヘキモノヲ云フ「イスト」トハ已ニ取上タル完納高ヲ云フ郡ニハ別ニ「カライスカツセ」ト云フ者アリ「ガライスカツセ」トハ國稅出納局ヲ云フ是ハ郡内ノ直接國稅ヲ取立テ之ヲ縣ノ「ハヲブトカツセ」出納本局ニ納ムルナリ村里ニ於テ特ニ村里ノミニ係ル費用ハ村費ヲ以テ取立ルモノニシテ通常郡ノ賦課法ニ從フ「邑」ニ於テハ郡稅ヲ賦課スルニ付テ別ニ協議ヲ遂クルモ妨ケナシ「邑」ヲ別ニスルモノハ邑稅ハ此郡規則發行已前ヨリ國稅ノ賦課法ニ從テ取立居レリ是故郡ノ如ク必ス此規則ニ從テ取

立ル「ナクト」モ適宜ノ法ヲ設ケ取立ツヘキ「コ」ヲ政府ニテ信用スレハナリ「邑」ト村里ト間々區別セシモノハ獨逸國ニ於テハ邑ノ方カ總テ開明進歩ノ速カナレハ自然區別ヲ爲シタルナリ郡稅ヲ各村里ニ賦課スル「豫算」高ヨリ多分ノ完納高トナル「ハ」其餘分ヲ割戻ス「コ」ナクシテ之ヲ村費里費ニ充ツルナリ

郡ニ於テ徵收シタル郡費ニ對シ其稅額ニ付キ減却ノ故ノ故障ヲ申立テ當然ナル「ハ」豫算高ヨリ完納高ヲ減スル「コ」アリ其時ハ再ヒ各人民ニ其不足ノ分ヲ科スル「コ」アリ若シ豫算高ヨリ完納高ノ多キ「ハ」之ヲ割戻サスシテ之ヲ郡費ニ充ツ

郡稅賦課方ヲ決定スル事

第十二條 郡會ハ道路橋梁堤防等ノ事ニ付テハ地稅家屋稅並ニ(八)第

一營業稅(邑ヲ除ク)ニ此第十條ニ定メタル制限(半額ヨリ全額ニ至ルマテ)ニ從ヒ其他ノ事ニ付キ取立郡稅ヨリ高キ部合ヲ以テ郡稅ヲ科スルコトヲ得又第十條ノ三項ニ從テ全ク分等稅ノ一等ヲ免スルカ又ハ僅ナル部合ヲ以テ科スルコトヲ得

郡會ニ於テ一定ノ期限内ニ其賦課法ニ付キ決議スルコト能ハサルハ其決議アルマテハ直接國稅ニ基ク郡費ハ行商營業稅ヲ除キ一切第十條一項ニ從テ同等ニ賦課スヘシ

郡會ハ決定シタル賦課法ヲ五年毎ニ改正スルコトヲ得

郡ノ或ル部分ニ付キ郡稅ヲ増減スル事

第十三條 郡内公ケノ建造場カ郡ノ或ル部分ニ於テハ特別ニ利益ト爲リ又ハ特別ニ利益トナラサルコトアリ郡會ハ其郡内ノ人民ノ損益

ヲ計リ徵收スヘキ郡稅ノ額ヲ増減スルノ權アリ但増額ノハ郡會ノ決議ニ因リ實額ヲ納メストモ力役又ハ物件ヲ以テ代納セシムルコトヲ得

他管内人及ヒ法律上ニ於テ人ト看做ス可キ者等ニ郡稅ヲ科スル事

第十四條 郡内ニ住所ヲ有セサルカ又ハ國稅ヲ科セラレサル者ニテ其郡内ニ土地ヲ有シ又ハ營業ヲ爲シ又ハ坑業結社外ニテ坑業ヲ營ム者並ニ郡内ニ住居セサル同盟會社ツイーハンブルグセルシャフト又ハ差金會社コンツェンダートセルシャフトノ社員(獨逸商法第八十五條及ヒ第百五十條參看)ハ其郡内ニ於テ直接國稅ヲ出サスト雖モ土地營業坑業又ハ是等ヨリシテ生スル收入高ニ應シ郡稅ヲ出ス可キ義務アリ

法律ニ於テ人ト看做ス可キ者及ヒ差金無名會社及ヒ無名會社
コンパニイ、ソシエテ、セムシヤ、フアラフアラ、キヤンパニ、アキチン、セムシヤ、
 (獨逸商法第七十三條及ヒ第二百七條參看)並ニ坑業結社ニテ郡内
ベルヒゲ、ベルヒヤン
 ニテ郡内ニ土地ヲ有シ又ハ營業坑業ヲ爲ス者ハ前項ト同キ義務アリ
ヒツク
 政府ノ出納局ハ之ニ屬スル土地營業坑業ヨリ生スル收入高ヨリ郡
 稅ヲ拂ハスト雖モ分等稅及ヒ分等收入稅ノ部合ノ半額丈ケ多キ地
 稅及ヒ家屋稅ヲ増シ(例ヘハ分等稅ノ部合ノ十トアルヲ其半額ノ
 五丈ケ多キ稅則チ十五ノ稅ヲ拂フ)拂ハシメラル、ヲ得第十二
 條「二項」ノ場合ニ於テハ郡會ノ決議ナクトモ之ヲ科スルヲ得(政府
 ノ出納局トハ第一分等稅及ヒ分等收入稅ノ部合ノ全額ヲモ出サス
 又其部分ノ半額モ出スニ及ハス然レモ地稅及ヒ家屋營業稅ハ其他
 管下納稅者ト等キ部合ヲ拂フ可ク且其假定シタル收入稅ノ代リニ

分等稅及ヒ收入稅ノ部合ノ半額ヨリ多キ地稅家屋營業稅ヲ拂ハサ
 ル可ラス千八百七十五年二月二十五日發スル内務省指令千八百七
 十二年十二月十三日發シタル郡規則ニ於テ政府出納局ノ郡稅ヲ出
 ス可キ義務ハ第十四條第三項ニ因テノミ定メタルニ非ス固ヨリ政
 府出納局ハ法律上ニ於テ人ト看做ス可キ者ナレハ則第一項第二項
 ノ如ク郡稅ヲ納ム可キ義務アリ然レモ第一項第二項ニ異ナルモノ
 ハ收入稅ヲ拂ハスシテ其代ニ地稅及ヒ家屋稅ニ附加スル郡稅ヲ多
 ク出ス可キ者トス千八百七十六年七月二十七日ニ定タル上等行政
 裁判所ノ判決ニ因ル、千八百七十四年六月十日ニ發シタル郡稅賦課
 法ニ關スル内務省布達郡稅規則第十四條第三項ニ從ヘハ政府出
 納局ハ之ニ屬スル土地營業及ヒ鑛業ヨリ生スル收入高ヨリ郡稅ヲ

拂フニ及ハストス併ナカラ分等税及ヒ分等收入税ニ附加スル郡税
 部合ノ半額ニ至ル地税及ヒ家屋税ニ附加スル郡税ヲ多ク拂フ可シ
 例ヘハ分等税及ヒ分等收入税ニ附加スル郡税カ百ニ付百ナルキハ
 政府出納局ハ拂フニ及ハサル收入税ノ代リニ地税及ヒ家屋税ヨリ
 百ニ付五十丈ケニ分等税及ヒ分等收入税多クノ地税及ヒ家屋税ニ附
 加スル郡税ヲ拂フ可シ故ニ郡會ニテ分等税及ヒ分等收入税ニ付附
 加スル郡税ヲ百ニ付百ト定メ地税及ヒ家屋税ニ附加スル郡税ヲ百
 ニ付五十ト定メタルキハ政府ノ出納局ハ地税家屋税ニ附加スル郡
 税ヲ百ニ付百ヲ拂フヘシ多クノ郡會ニ於テ此場ニ政府出納局ハ百
 ニ付百五十ヲ拂フ可シト決セシコハ不可ナリ
 鑄山ヲ所有シ(一)第一種ノ營業者ニ等シキ程ノ坑業ヲ營ム者ハ(二)第

一種ノ拂フ可キ部合ノ郡税ヲ拂フ可シ

政府ニ屬スル鐵道ハ郡税規則第十四條第三項ニ從ヒ郡税ヲ拂フ
 ニ及ハス併ナカラ私有ノ鐵道ハ郡税ヲ拂フ可キ義務アリ其郡税
 高ハ毎ニ三年間取立タル鐵道ノ純益ヲ照準シ株金ニ割付ク可キ
 高ヲ通算シ郡税ヲ科スルナリ但鐵道ノ停車場アル所毎ニ其税ヲ
 拂フ可シ

保險會社ハ其會社所在ノ地又ハ其總理代人ノ有ル所ニ於テ郡税
 ヲ拂フ可シ

第十五條 他管内ノ人坑業ヲ有スル者差金無名會社無名會社及ヒ法
 律上ニ於テ人ト看做ス可キ者等ノ國税ヲ拂ハサル者ニ對シ郡税ヲ
 科スルニハ郡總代ヨリ國税賦科法ニ從ヒ郡税ノ部合高ヲ定ム可シ

同一ノ收入ニ二重税ヲ科スルコトヲ禁ス

第十六條 何人タリトモ同收入高ニ付キ數郡ヨリ郡税ヲ科セラル、
コナシ故ニ郡内ノ收入高ヲ定ムルハ郡外ニ在ル土地又ハ郡外ニ於
テ營業所ノ營業礦業ヨリ生スル收入高ヲ算入ス可カラス則郡外ヨ
リ得ヘキ收入高ヲ國税ノ總收入高ヨリ扣除シ其分ヲ預定シタル郡
税ノ高ヨリ減スルコト也

郡税ヲ免スル事

第十七條 政府ノ所有ニシテ公用ノ爲メニ供スル土地家屋又ハ王宮
並ニ千八百六十一年五月二十一日ニ發シタル法律第四條ノ(ハ)(ニ)
(地税規則)千八百七十七年三月十二日ノ法律第一條及ヒ千八百六
十一年五月二十一日ニ發シタル法律第三條ノ二項ヨリ六項ニ至ル

(家屋税ヲ一般ニ施行スル規則)迄ニ掲ケタル土地及ヒ家屋ハ並ニ
郡税ヲ免セラル可シ

①(千八百六十一年五月二十一日法律第四條)②州縣郡區村里又ハ鄉
邑ニ屬スル土地ハ其公用ノ爲メニ供セラル、者例ヘハ小^{カサセン}巷市中空
地橋梁車道人道挽船道小川井戸堀割港口造船所物揚場墓所遊步場
植物園其他公ケナル場所及ヒ路傍ニ樹木ヲ植フル爲メ設ケル草木
繁殖場ノ類③政府ノ許可ヲ以テ私有シ或ハ無名會社ヨリ公ケノ用
ニ供スル爲メ設ケタル者例ヘハ橋梁人工ニテ作タル道路鐵道ノ線
路及ヒ船ヲ浮フ可キ堀割ノ類(千八百六十一年五月二十一日ニ發
シタル法律)(第二項)政府州縣郡區村里又ハ鄉邑ニ屬スル家屋其公
用ノ爲メ備ヘタル者例ヘハ官員ノ官宅及ヒ軍務行政司法及ヒ警察

又ハ租税郵便ノ事務ニ關スル官署又ハ郡村等ノ會議所并ニ書庫博物館ノ類(第三項)大學校及ヒ其他公ノ教育ニ供スル家屋(第四項)寺門及ヒ説教所(第五項)僧侶及ヒ經門傳教師ノ官宅(第六項)貧窮所孤兒養育所病院懲治所(子供ノ)拘留所獄舍寄附金ヲ以テ設ケタル救恤所(千八百七十七年三月十二日法律堤防組合ノ堤防及ヒ公益ノ爲メ政府ノ監督ニ付シタル私有ノ堤防ハ免稅ノ土地同様ニ看做スヘシ)

第十八條 他日法律ヲ以テ定ムルマテハ僧侶及ヒ小學校ノ教師ノ公用ニ供スル土地ハ郡稅ヲ拂フニ及ハス又其法律ヲ頒布スルマテハ直接及ヒ間接官員ノ俸給ハ千八百二十二年七月十一日ニ發シタル法律ノ第二條及ヒ第三條ニ定メタル金額ノ部合ニ從ヒ郡稅ヲ科ス

ルヲ得レヒ已ニ住居スル地ノ團結ニ於テ其法律ニ定ムル最多數ノ村費ヲ拂ハサルキニ限り且其最多數ヲ越ユ可カラス(直接官員トハ直接ニ政府ニ奉仕スル者ヲ云フ故ニ其人ハ國王又ハ政府官員ヨリシテ職務ヲ任セラル、者ナリ間接官員トハ行政ニ參スル者(例ヘハ郡長郷長ノ下役ヲ命スル類)ヨリ命セラル、者ヲ云フ但其命セラル、際ニ政府ヨリ許可スルト許可セサルトニ係ハラサルヘシ)郡稅ヲ科スルニ付テハ並ニ該法律ノ第十條ヲ遵奉スヘシ

①千八百二十二年七月十一日ノ法律ニ官員ニ郡稅ヲ科スルニハ俸給二百五十「ターレル」以下八百ニ付一二百五十「ターレル」以上五百「ターレル」以下八百ニ付一半夫ヨリ以上八百ニ付キニトス

②該法律第十條ニ郡稅ヲ免セラル、ヲ得ル者ハ左ニ記載スル者

ノ類ヲ云フ

④寡婦ノ恩給令及ヒ官員死去ノ後遺子ノ教育料

⑤官員退隱料及ヒ休職料二百五十「ターレル」ニ至ラサルル

⑥官員在官ニシテ死去ノ一月分俸給及ヒ死去後三月分受ク可キ恩給

⑦官員ノ公費及ヒ接對料

⑧軍人ノ俸給及ヒ公費並ニ非役料

⑨僧侶及ヒ教師ノ俸給

郡稅ヲ科スルニ付キ故障ヲ申立ル事

第十九條 郡總代ハ一郡ノ建築物ヲ使用スル權ニ郡費ヲ科セラル、
コ又ハ其高ニ關スル故障ヲ決定スニノ故障ハ郡費ヲ公告シタルニ

ケ月内ニ郡總代ニ差出ヘシ但直接國稅ニ基ク郡費ノ部合高ニ對シ
テハ故障ヲ申立ルコヲ得ス郡總代ノ決定ニ對シテハ二週間内ニ縣
行政裁判所ニ訴フルコヲ得但普國法律全書二篇十四章第七十九條
及千八百六十一年五月二十四日ノ法律九條十條又ハ其他ノ法律ニ
從テ通常裁判所ニ訴フルコヲ得ル場合ニ限り行政裁判所ノ管轄ナ
リトス故障及ヒ訴訟ハ其決定ヲ停止セス

第三章 郡内ニ於テ自ラ設クルヲ得ヘキ規則

第二十條 一郡ハ左ノ權ヲ有ス

郡規則ニ於テ各郡各別ニ郡ノ事件ヲ定ムルコヲ許シタルル(例ヘ
ハ第四百四條第二項第百八條第一項及ヒ第百九條ノ如キヲ云フ)又
ハ自カラ郡ノ規則ヲ作ルヘシト定メタルル或ハ郡規則ニ特ニ掲ケ

サル郡ノ事件ニ就テハ郡内ニ於テ自ラ規則ヲ定ルノ權アリ

二郡ノ建築物ニ付テ總テ規則ヲ設クルノ權アリ

規則ヲ設クルキハ郡ノ公告紙ヲ以テ公告スヘシ郡ノ公告紙ナキ所

ニテハ郡ノ費用ヲ以テ縣ノ公告紙ニテ公告スヘシ

第二篇 郡ヲ分ツコト及ヒ職務

第一章 總則

郡ヲ分ツコト

第二十一條 郡ハ(郷ヲ除キ第四條及ヒ第百六十九條ヲ參看スヘシ)

之ヲ邑區ニ分ツヘシ

區ハ一村又ハ數村或ハ一里又ハ數里若クハ村里ヨリ成立ツヘ

シ

郡行政ノ上ニ郡長アリ區行政ノ上ニ區長アリ村行政ノ上ニ村長ア

リ里ニ於テハ里長アリ村長ニ等シキ行政ヲ掌ル

第二章 村長及ヒ輔佐人ノ職務並ニ里ノ行政ノ事

村長及輔佐人

ケマインデホールステーエヒ

第二十二條 村長ニ二人ノ輔佐人ヲ附シ村長ノ職務ヲ輔翼シ且村長

ケマインデホールスタンデ

シヨツヘン

不在ノ時ハ其職務ヲ代理ス

若シ或ル地方ノ規則ニ依リ村官ノ員數之ヨリ多クアルトモ之ヲ減

スルコトナク其儘ニシテ置クヘシ

又郡總代ハ村ノ申立ニ因リ區長ノ意見ヲ聞タル上輔佐人ノ員數ヲ

増加スル決定ヲ爲スヲ得

若シ村ヨリノ申立アリシト郡總代之ヲ肯セサル時ハ縣輔佐官ニ

ケマインデホールスタンデ

郡規則一

故障ヲ申立ルコトヲ得

①村官ヲ選舉スル事

第二十三條 村長及ヒ輔佐人ハ村全員又ハ村總代會ニ於テ投票ノ權ヲ有スル村民ヨリ多數ヲ以テ選舉セラレ可シ

千八百五十六年四月十四日ニ發ヒシ普魯西國東六州ニ施行セシ村編制法ニ係ル法律ノ投票權○第三條投票ニ與カル權及ヒ村會ニ於テ其權ヲ施行スルコトハ地方編制法ニ於テ之ヲ定ム○第四條若シ地方編制法ニ明カニ投票ヲ爲ス權ヲ定メサルキ又ハ投票ニ與カラシメサルキハ村會ハ第五條及ヒ第六條ノ規則ニ從テ地方編制法ヲ補闕シ若クハ變更ス可シ其會ノ決議ハ郡總代ノ認可ヲ受ク可シ(若シ郡總代之ヲ認可セサルキハ州輔佐官ニ故障ヲ

申立ルコトヲ得)若シ村會ニ於テ衆議一定セサルキハ郡總代ノ第五條第六條ニ從テ地方編制法ノ投票權ニ係ル部分ヲ自ラ補闕變更ス可シ○第五條①何人タリトモ村内ニ住居シテ家屋ヲ所有スル者ハ投票權ニ與カルコトヲ得ヘシ②自ラ住居セスト雖モ村内ニ於テ土地ヲ有シ其土地ノ上ニ住居スヘキ家屋ヲ所有スルカ又ハ家屋ナクトモ廣大ナル地所ヲ有スルキハ投票ノ權ニ與カルコトヲ得但其土地ノ所有者ハ他管内ノ人タリトモ投票ノ權アリトス又法律上ニ於テ人ト看做ス可キ者モ亦村内ニ於テ廣大ナル土地ヲ有スルキハ投票ノ權アリトス③他ニ比較スレハ大ニ高貴ナル價アル土地ヲ有スルカ又ハ非常ニ巨大ナル土地ヲ有セシ者ハ一箇ヨリ多クノ投票ヲ爲スノ權アリトス④村内ノ人民ハ投票權ニ與

カル事ニ付キ多クノ等級ニ分タラル、コアリ⑤土地狹小ニシテ之ヲ耕スニ馬牛ノカヲ要セサル程ノ土地ヲ所有スル者ハ一己ニシテ投票ヲ爲スコナク數人相集リ共合シテ投票ヲ爲スコヲ得如此所有者ハ其中ヨリ代理人ヲ選ヒ村會ニ出スヘシ但其代理人ノ年限ハ六年ヨリ多カラス三年ヨリ少カラサル可シ○第六條以下ニ掲ケタル者ハ土地ヲ所有スルニ因リ投票ノ權ヲ有スレト代理人ヲ以テ之ヲ爲サシムルコトヲ得○幼年者ニハ父繼父又ハ後見人ヲシテ代理セシム②夫アル婦ハ夫ヲシテ代理セシム③未婚ノ女

④旅行中ノ者及ヒ法律上ニ於テ人ト看做ス可キ者
 村總代會ヲ設クル事○第八條村ヨリノ申立ニ因リ村全員會ヲ必要トセサルキハ村總代會ヲ設クルコトヲ得然ルキハ前以テ規則ヲ

作り村總代ノ全數之ヲ選舉スル時日投票者ノ等級ヲ分ツト並ニ各等級ヨリ選舉スル所ノ總代ノ員數及ヒ選舉法ヲ定ムヘシ
 如レ此規則ハ區長及ヒ郡長相共ニ參與シテ之ヲ作り後郡總代ノ認可ヲ受ク可シ(若シ認可セサルキハ州輔佐官ニ故障ヲ申立ツルコトヲ得)

父子ハ同時ニ村長及ヒ輔佐人ト爲ルコトヲ許サス選舉ハ郡規則ニ附加スル選舉規則ニ從テ之ヲ爲スヘシ

附錄選舉規則第一條選舉ノ當日前八日マテニ書面ヲ以テ又ハ公
 ノ公告ニ因テ投票者ヲ徵集ス可シ其書面又ハ公告ニハ明カニ選舉ノ場所時日ヲ掲ク可シ

第二條選舉掛ハ郡長又ハ郷長又ハ村長又ハ是等ノ人ヨリ命セラ

レタル選舉掛頭取一人及ヒ選舉會ヨリ選フ可キ陪席役二人ヲ以テ成立ヘシ選舉掛ハ書記及ヒ投票ノ數ヲ算フル者ヲ定ムヘシ
 第三條選舉ノ際ニ付與ス可キ用紙ハ公印ヲ捺シタル投票紙ヲ以テ爲スヘシ

第四條各選舉ハ(村長輔佐人郡會ノ議員ヲ選フコトヲ云フ)各別ニ投票ヲ爲スヘシ

第五條選舉會ニ於テハ討論及ヒ相談ヲ爲スコトヲ得ス

書記ハ投票者人名簿ニ記シタル投票者ヲ呼上クヘシ呼上ケラレタル者ハ其投票紙ヲ投壺ニ入ルヘシ

投票施行ノ際ニ當リ後レテ出頭セシ投票者ハ未タ投票ノ終ラサル者ノミニ投票ヲ爲スコトヲ得ヘシ

已ニ投票スル者ナキハ選舉掛リハ投票ノ終リシコトヲ呼上クヘシ

選舉頭取ハ投壺ヨリ投票紙ヲ各別ニ取り上ケ其名ヲ呼立テ投票ノ數ヲ算フル者ハ之ヲ明カニ算上クヘシ

第六條公ノ印ヲ備ヘサルカ又ハ白紙ナルカ又ハ被選ノ權ナキ者ノ氏名ヲ記スルカ又ハ一紙ニ數名ヲ記シタル投票紙ハ其効ナカルヘシ

都テ無効ノ投票紙ハ最初ヨリ投票セサルモノト看做スヘシ投票紙ノ無効ノ事ニ就テハ先ツ選舉掛リニテ之ヲ決定ス其投票紙ハ之ヲ保存シ而シテ其無効ノ者ニ其理由書ヲ副ヘ郡長又ハ郡總代ニ差出スヘシ

第七條 多數ノ投票ヲ得タル者ヲ則チ選舉セラル、者トス
多數ヲ以テ投票ヲ定メ難キ場合ハ多クノ投票ヲ得タル者二人ヲ
特別ニ選舉スヘシ二人以上多クノ投票ヲ得且同數ヲ得タルハ
選舉頭取ハ抽籤ヲ以テ特別ニ選舉ス可キ二人ヲ定ムヘシ特別ノ
選舉ヲ爲スモ仍ホ同數ニシテ定メ難キハ同ク抽籤法ヲ以テ投
票ヲ定ムヘシ

第八條 選舉ノ時ノ理由書ハ選舉掛及ヒ數ヲ算フル者之ニ署名
ス可シ

第九條 郡會ニ於テ爲ス選舉ハ他ヨリ故障ヲ申立セサレハ投票
紙ヲ用ヒスシテ唯其氏名ヲ呼立ツルヲ得

地方權限法第四十五條ヲ以テ本條第二十三條ヲ補ヒタリ則チ第

四十五條ニ村全員會ニ於ケル投票權又ハ村ノ選舉ニ加ル權ニ付
キ爭論ノ起リシキカ又ハ村長、輔佐人、其他ノ村ノ官吏若クハ選舉
會ニ於テ村總代ヲ選フノ規則ニ背キタルコニ付キ十日内ニ故障
ヲ申立タルハ村總代若シ村總代ノナキハ村長之ヲ判決スヘシ
(投票ノ權ヲ有スル者又ハ故障ヲ申立タル者ハ其判決ニ對シ郡
總代ニ訴フルヲ得郡總代ノ判決ハ直チニ執行スヘシ但此規則
ニ於テ選舉ノ認可ヲ要スル者ハ其判決アルマテ選舉ノ認可ヲ爲
スヲ得ス且判決アルマテハ其者ノ代リニ更ニ他人ヲ選舉ス可
カラス)(故ニ選舉ノ認可ハ故障日限内又ハ訴ノ定期内ニハ之ヲ
爲ス可カラス)

(郡總代ノ判決ニ對シテハ二週間内ニ縣行政裁判所ニ控訴スル

トヲ得)千八百八十年八月二日ニ發シタル行政裁判所及ヒ行政
裁判事件ニ付法律第五十四條ヲ掲ケリ

第二十四條 村長及ヒ輔佐人ハ六年間ノ期限ヲ以テ之ヲ選舉ス可シ

第二十五條 村長及ヒ輔佐人ノ職務ヲ受ク可キ義務、其職務ヲ拒ム

可キ理由ニ付テハ第八條ノ第一項ヨリ第四項マテノ規則ヲ適用ス

ヘシ但郡會ニ代ルモノハ(第八條第二項第五)村總代會ナリトス村

總代會ナキ所ニテハ村全員會ナリトス

第八條第二項ニ掲ケタル理由ナクシテ村長又ハ輔佐人ノ職務ヲ拒

ムカ又ハ定期年限内ニ自カラ其職ヲ辭スルカ或ハ其職ヲ奉セサル

者ハ村總代會ノ決定ニ因リ村總代會ナキ所ニテハ村長ノ決定ニ因

リ三年ヨリ六年マテ村行政ニ參シ及ヒ選舉被選舉ノ權利ヲ失ヒ且

他ノ管内人民ヨリ八分一ヨリ四分一ニ至ル所ノ多キ村稅ヲ出サシ
ムヘシ村總代會又ハ村長ノ決定ニ對シテハ二週間内ニ郡總代ニ訴
フルトヲ得

◎選舉ヲ認可スル事

第二十六條 村長及ヒ輔佐人ヲ選舉シタルキハ郡長ノ認可ヲ要ス

郡長ハ之ヲ認可スル前ニ區長ノ意見ヲ聞クヘシ

郡長ハ郡總代ノ承諾ヲ得テ其認可ヲ拒ムトヲ得(郡總代カ認可ヲ

拒ムトニ承諾シタルキハ村ヨリ二十一日内ニ州輔佐官ニ故障ヲ申

立ルトヲ得)

郡長ノ認可ヲ拒ムキハ新タニ選舉ヲ行フヘシ新タニ選舉スルモ仍

ホ認可セサルキハ郡長ハ其選舉ノ認可ヲ爲スマテ區長ノ申立ニ因

リ郡總代ニ於テ承諾シタル人ヲシテ一時ノ代理ヲ爲サシム
選舉ノ時ニテ多數ヲ得スシテ其人ヲ得サルモ亦前項ニ從ヒ一時
ノ代理ヲ爲サシム

第二十六條 ④他ノ村ノ官吏ヲ選舉スルニ付認可ヲ要スルモ亦
前條ヲ適用スヘシ

⑤村長及ヒ輔佐人タル者ハ誓約ヲ爲ス事

第二十七條 村長及ヒ輔佐人ハ其職務ヲ受クル前ニ郡長ニ對シ又ハ
郡長ノ命ニ因リ區長ノ面前ニ於テ誓約ヲ爲スヘシ

⑥村長及ヒ輔佐人ノ職務ニ付テノ費用ヲ償フ事

第二十八條 村長ハ立替タル正金ノ償ヲ求メ及ヒ慰勞ノ爲メ至當ノ
手當金ヲ求ムルヲ得

其償金及ヒ慰勞金ハ村内ヨリ之ヲ出ス可シ

従前里長ノ手當トシテ土地所有者ヨリ出セシ正金及ヒ品物ハ全ク
之ヲ廢止ス

然レモ里長ノ手當トシテ出シタル土地ハ此規則ニ依リ返却ヲ求ム
ルヲ得サレモ已ニ土地及ヒ正金品物ヲ出セシ土地所有者ハ村長
ヲシテ従前ノ如ク村長ノ職務ヲ勤メシメ又ハ己レノ代理ヲ出ス
ヲ求ムルヲ得

所有者又ハ村ハ將來正金品物ノ取引ヲ止メ又ハ土地ノ爲メニ償ヲ
出シテ相互ノ關係ヲ解クヲ得或ハ村ヨリ其償ヲ出サスシテ土地
ヲ返却スルヲ得

右ノ償却手續ニ付テハ第四十一條ヨリ第四十五條ニ至ル規則ヲ適

用スヘシ但第四十五條第一項ニ掲ケタル費用ハ所有者ヨリモ亦出
スニ及ハス(四十五條第一項此規則ニ於テ郡總代及ヒ派出委員ニ
任タル事務ヲ行フニ當リ生スル費用ハ村及ヒ村長タルノ義務付キ
ノ土地ヲ所有スル者ハ其費用ヲ出スニ及ハス)輔佐人ハ無給ニテ
職務ヲ勤ムルヲ常トス但只正金立替ノ償ヲ求ルコトヲ得ルノミ

地方行政權限法第四十七條ニ依テ此第二十八條ヲ補ヘリ則第四
十七條ニ郡總代ハ關係者ノ申立ニ因リ村長ノ手當金ヲ確定スル
コト輔佐人ノ正金立替ヲ確定スルコト里長ノ代理者ノ手當金ヲ確定
スルコト並ニ他ノ村ノ役人ノ給料及ヒ手當金ヲ確定スルコトニ付之
ヲ決定ス可シ

關係者ハ二週間内ニ郡總代ノ決定ニ對シ訴訟ヲ起スノ手續ヲ郡

總代ニ求ムルコトヲ得

第四十八條郡總代ハ土地所有者ト村トノ間並ニ村長タルノ義務
付キノ土地ヲ所有スル者ト村トノ間ニ取結ヒタル契約ヲ認ム可
シ

其認ムルコトヲ拒ミタル場合ニハ關係者ヨリ土地義務解放役所ニ
フロスフィンナンデレヒツンクヌベヒヨル

申立其裁判ヲ求ムヘシ

村長ノ權限及ヒ義務

第二十九條 村長ハ村内ヲ總轄スル長官トス區長ヲ兼子サル時ハ

(第五十六條第五項ニ一村又ハ一里ヨリ區ノ成立ツトハ村長又ハ

里長ハ區長ノ職務ヲ兼任ス)警察事務ニ付テハ區長ノ屬官トス

故ニ村長ハ公安及ヒ靜謐ヲ保ツカ爲メニ警察上至急ヲ要スル事件

アルハ先ツ其處分ヲ定メ速カニ之ヲ行ハシムルノ權利及ヒ義務アリトス

地方行政權限法第三十三條ヲ參看スヘシ則第三十三條縣令郡長地方警察官村長里長ハ其職務ヲ行フカ爲メニ法律ニ從ヒ左ニ記載スル脅迫法ヲ用フルノ權アリ

○本條ノ官吏ハ脅迫法ヲ行フニハ成ル可ク餘人ヲシテ之ヲ爲サシム可ク且使吏ヲシテ預シメ定ム可キ費用等ヲ義務者ヨリ取立ツ可シ

○脅迫法ヲ以テ爲ス可キ事件餘人ヲシテ爲サシムルヲ能ハサル時又ハ義務者ヨリ餘人ヲシテ爲サシムル費用ヲ償却スルカナキコトノ明ナルハカ又ハ爲ス可カラサル事ヲ預メ脅迫法

ヲ以テ禁止スヘキハ前項ノ官吏ハ預メ罰金ノ高ヲ定メ之ヲ義務者ニ申含メ其命令ニ從ハサルハ之ニ科スルノ權アリ

縣令ハ三百「マルク」迄郡長並ニ郷ノ警察官及ヒ村長ハ百五十「マルク」迄郡内ノ地方警察官及ヒ邑ノ村長ハ六十「マルク」迄村長里長ハ五「マルク」迄テノ罰金ヲ定ルコトヲ得

同時ニ獨逸刑法第二十八條第二十九條ニ依テ無力ニシテ出スコト能ハサル者ノ拘留ノ長短ヲ定ムヘシ

縣令ハ四週間ノ拘留郡長並ニ郷ノ警察官及ヒ村長ハ二週間郡内ノ地方警察官及ヒ邑ノ村長ハ一週間村長里長ハ一日ノ拘留ヲ科スルノ權アリ

罰金拘留ヲ科スルニハ毎ニ前以テ義務者ニ書面ヲ送り此命令ニ從ハサルキハ其刑ニ處ス可キヲ嚴ニ申含ム可シ

③前以テ義務者ニ申含ルコトナクシテ直チニ罰金拘留ヲ科スルニハ脅迫法ニ因テ爲スキハ到底之ニ從ハサルコトヲ察スル場合ニ限ルヘシ

第三十條 村長ハ左ノ權利及ヒ義務ヲ有ス

○一千八百七十七年二月一日ノ獨逸治罪法第二百二十七條及ヒ千八百五十年二月十二日ニ發シタル自由保護律第六條ノ規則ニ從テ村長ハ犯人ヲ捕縛シ及ヒ拘留スルコト

一 罰ス可キ所行ヲ爲スキニ當リ現ニ之ヲ逮捕スルカ又ハ犯罪ヲ追呼シテ逮捕スル時

二 罪ヲ犯シタル後ト雖モ首謀者又ハ共犯ニシテ且逃走ノ恐アルキ

六條村長ハ自己ノ防禦ノ爲メ又ハ公ノ靜謐安寧ヲ保ツカ爲メニ拘留ヲ要スルキハ其犯人ヲ拘留スルノ權アリ但拘留人ハ遅クトモ次日内ニ放免スルカ又ハ管轄役所ニ送付スルノ手續ヲ爲スヘシ

④村長ハ監視ニ付シタル人ヲ監察ス可シ

獨逸刑法第三十九條ニ從ヘハ監視ハ左ノ効アル者トス

一 監視ニ付シタル者ハ縣官ヨリ或ル地方ニ住居スルコトヲ禁セラル、コトヲ得
二 縣官ハ監視ニ付セラレタル外國人ヲ國內ヨリ逐出スコトヲ

得

三 家宅捜査ハ夜中ト雖モ之ヲ爲スコトヲ得

㊦ 村長ハ區長檢事又ハ區檢事ヨリ命令シタル警察處分ヲ執行シ且
實驗ヲ爲スヘシ

㊧ 村長ハ千八百四十二年十二月三十一日ニ發シタル他方ヨリ新ニ
來住スル人ノ報知ヲ受ク可キ法律第八條以下ニ掲ケタル報知ヲ
受取ヘシ(第八條何人ニテモ一地方ニ住居セント欲スル者ハ其
地ノ警察官ニ申立其身分ニ付詳細ナル報告ヲ爲スヘシ警察官ハ
之ニ住居許可證ヲ與フヘシ)

第十條村長ニシテ警察官ヲ兼テサル場合ニ於テハ警察官ハ住居
許可證ヲ與フル前住居スヘキ者ニ之ヲ許可ス可キヤ否ニ付キ村

長ノ意見ヲ問フヘシ

里長

第三十一條 獨立シタル大ナル私領地ヲ有スル者(里長ナリ)ハ法律
ニ於テ公益ノ爲メ村ニテ負擔ス可キ義務ヲ負擔セサル可カラス故
ニ其所有者ハ特ニ第二十九條第三十條ニ掲ケタル公務ニ關スル權
利義務ヲ自カラ負擔スルカ又ハ相當ノ代理人ヲシテ負擔セシムヘ
シ代理人ハ每ニ其地内又ハ其近傍ニ住居スヘシ
又所有者ハ第二十八條第四項ノ場合ヲ除クノ外近傍ノ村長ト協議
シタル上ニテ相當ノ手當金ヲ出シ里長ノ職務ノ全部又ハ一部ヲ村
長ニ委托スルコトヲ得

有夫ノ婦ハ丁年ト未丁年ヲ問ハス上ニ掲ケタル權利義務ニ付テハ

其夫ヲシテ代理セシメ未丁年者ハ其父孤兒ハ後見人監財人ニ因テ代理セラルヘシ

第三十二條 左ノ場合ニ於テハ代理人ヲ命スヘシ

第一 法律上ニ於テ人ト看做ス可キ者ニ屬スル土地又ハ差金無名會社ニ屬スル土地又ハ數人共ニ土地ヲ所有シ孰レモ里長ノ職務ヲ肯セサルト

第二 土地所有者ノ獨逸人ナラサルト

第三 土地所有者ノ毎ニ其地内又ハ其近傍ニ住居スルコト能ハサルト

第四 土地所有者病氣又ハ自己ニ關スル事故アリテ里長ノ義務ヲ盡スコト能ハサリシトキ

第一ヨリ第四マテニ掲ケタル場合ニ於テハ土地所有者ノ申立ニ因リ命セラレタル里長ノ代理人ヲ命スルコトヲ得其代理人ハ里長ノ故障アルトキハ其事務ヲ主ルヘシ
私領地ノ一部他方ニ飛地ナルトキハ其一部ニ郡總代ヨリ別段ノ代理人ヲ命シ置クコトヲ得但其一部ノ行政ニ關シ必用ナリトスルトキニ限ルヘシ

第三十三條 土地所有者又ハ代理人ハ郡長ヨリ里長タルノ認可ヲ受ク可シ

郡長ハ郡總代ノ承諾ヲ以テ其認可ヲ爲スコトヲ拒ムコトヲ得
里長ハ其職務ヲ行フ前ニ當リ郡長又ハ郡長ノ命シタル區長ノ面前ニ於テ誓約ヲ爲スヘシ

第三十四條 土地所有者ハ第三十二條ノ場合ニ於テ代理人ヲ命スル
コトヲ怠ルカ又ハ郡長ヨリ里長タルノ認可ヲ得サルカ又ハ破産ヲ爲
スカ又ハ公權ヲ失フキハ郡長ハ郡總代ノ承諾ヲ以テ土地所有者ノ
費用ニテ特ニ代理人ヲ命シ置クヘシ

第三十四條④郡總代ハ關係者ノ申立ニ因リ村長ノ手當金ヲ確定ス
ルコト輔佐人ノ正金立替ヲ確定スルコト里長ノ代理者ノ手當金ヲ確定
スルコト並ニ他ノ村ノ役人ノ給料及ヒ手當金ヲ確定スルコトニ付決定
スヘシ

第三十五條 本條ハ廢止ス 地方行政權限法第六十一條ヲ設ケ本條ヲ廢止セリ則第
六十一條區長村長輔佐人及ヒ里長並ニ村區其他ノ役人ノ職務ニ關
スル罪ニハ左ノ方法ニ從ヒ千八百五十二年七月二十一日ニ發シタ
ス

ル行政官吏懲戒法ヲ適用ス可シ

①村長輔佐人及ヒ里長並ニ村區ノ其他ノ役人ニ對シ懲戒ヲ行フコ
トハ郡長之ヲ爲スヘシ州官ノ權内ニ屬スル分ハ縣令之ヲ爲ス可
シ

②區長ニ對シ懲戒ヲ行フニハ州官ノ權内ニ屬スル分ハ郡總代之ヲ
行ヒ^{ニスト}郡長ハ區長ニ對シ懲戒ヲ行フノ權ナシ

③郡長ノ命令又ハ郡總代ノ裁決ニ對シテハ二十一日内ニ縣行政裁
判所ニ訴ヲ起スコトヲ得縣令又ハ縣輔佐官ニ對シテハ同一ノ日數
内ニ上等行政裁判所ニ訴ヲ起スコトヲ得

④免職セシムル訴訟ノ手續ヲ始ムルニハ郡長又ハ縣令ヨリ其指圖

ヲ爲シ且糺問掛及ヒ檢事ノ職ヲ勤ムヘキ者ヲ命ス可シ
始審裁判ハ郡總代之ヲ爲スヘシ

郡總代ノ判決ニ對シテハ法律ニ定メタル期限内ニ縣行政裁判所
ニ控訴スルコトヲ得但縣行政裁判所ニ於テハ對審ノ手續ヲ以テ裁
判スヘシ控訴裁判ニ於テハ檢事ノ職務ヲ勤ム可キ者ヲ縣令ヨリ
命スヘシ

糺問シタル上ニテ其裁判ヲ中止セントスルニハ獨リ郡總代ノミ
之ヲ止ムルコトヲ得

○懲戒法第一條 該懲戒ハ此法ニ定メタル制限ヲ以テ總テノ直接間
接官吏ニ用フヘシ但シ千八百五十一年五月七日ニ發シタル裁判官
ニ對シ用フヘキ懲戒ハ此限ニ在ラス

第一章

職務ニ關スル所犯及ヒ其罰ニ付總則

第二條 官吏ニシテ第一職務ニ關スル義務ヲ犯シ又ハ第二官吏
ノ行狀不良ニシテ官職ヲ汚シ又ハ官吏ノ信用ヲ失ヒシ者ハ此
法ノ規則ニ依テ之ヲ處分スヘシ

第三條 第二條ノ所行若シ刑法ニ觸レシトハ其罰ハ刑事裁判所
ニ於テ通常ノ手續ヲ以テ之ヲ裁判スヘシ

第四條 刑事糺問中被告人ニ對シ同事件ニ付テハ懲戒裁判ノ手
續ヲ爲ス可カラス

若シ懲戒裁判中ニ同事件ニ付キ刑事ノ糺問ヲ始ルトハ刑事裁
判ノ終ルマテ懲戒裁判ノ手續ヲ中止スヘシ

第五條 刑事裁判所ニ於テ被告人ニ罪ナシト判決セシキハ糾問中ノ事柄ニ付キ未タ判決ヲ爲サル分ハ更ニ懲戒法ヲ以テ處分スルコトヲ得

刑事裁判所ニ於テ有罪ト判決セシト雖モ未タ免職ニ至ラサルキハ懲戒裁判ニ於テ其官吏ニ對シ更ニ懲戒手續ヲ始ムヘキヲ命スルコトヲ得

第六條 此法ニ於テ職務ニ關スル所犯ノ爲メニ損害賠償ヲ爲シ又ハ民法上ノ義務ニ關スル處分ハ民法裁判所ニ移シテ其裁判ヲ爲スヘシ但百條ニ掲クル處分ハ此限ニ在ラス

第七條 刑事裁判ニ於テ一年以上ノ入獄ノ刑或ハ重罪ノ刑又ハ剝奪公權停止公權又ハ剝奪官職停止官職又ハ監視ニ付セラレ

タルキハ自然現任ノ官職ヲ失ヒタルモノトス

第八條 官吏賜暇ノ許可ナクシテ擅ニ職務ヲ去リ又ハ賜暇ノ許可ヲ受クルトモ其定期日限内ニ歸ラサル者已ムコトヲ得サル事由アルニ非サレハ其職務ヲ離レシ時間ノ俸給ヲ受クルコトヲ得ス

第九條 擅ニ職務ヲ離レシ時間八週日ヲ過クルキハ其職ヲ免スヘシ

官吏職務ヲ行フヘキノ命令ヲ受ケ又ハ職務ヲ離レシ後其職務ニ復スヘキコトノ督責ヲ受ケ仍ホ職務ヲ離ル、コト四週日ヲ過クルキハ其職ヲ免ス

第十條 俸給ヲ與ヘサルノ申渡ハ賜暇ノ許可ヲ爲スヘキ官署ニ

於テ之ヲ言渡スヘシ

若シ其申渡ニ對シ故障ヲ爲セシキハ懲戒裁判手續ヲ以テ裁判スヘシ(第八條看合スヘシ)

第十一條 免職ハ只々懲戒裁判ニ依テ之ヲ行フノミ

若シ官吏職務ヲ離ル、ト雖モ相當ノ理由アルキハ免職ス可カラス

第十二條 官吏擅ニ職務ヲ離レシキ第九條ニ定メタル期限ヲ過

キスト雖モ其官吏ニ重大ナル事情アルコトヲ察スレハ直ニ懲戒裁判ヲ用ヒテ免職スルコトヲ得

第十三條 第九條ニ掲ケタル命令及ヒ督責其他此法律ニ從ヒ文書送達ハ訴訟法ノ手續ニ從ヒ直ニ本人ニ送達スルカ又ハ最終

ノ住所ニ送達スレハ其効アリトシ且其ヨリ期限ノ始ルモノトス其誓ヲ爲シタル行政ニ屬スル使吏ハ通常裁判所ノ使吏ト同一ノ効アリ

第十四條 懲戒罰則ハ懲罰及ヒ免職ナリトス

第十五條 懲罰トハ一呵責一度之ヲ二譴責再ヒ犯則スルキハ免職スヘキコトヲ言合ム

三罰金四拘留下等ノ吏ニ對シテハ八日間ノ拘留ヲ爲スコトヲ得但シ其身分相當ノ場所ニ拘留シ通常ノ拘留ト別異ス下等吏トハ執行吏使吏門卒使役等カ役ヲ爲スモノヲ云フ

第十六條 免職トハ第一同等ノ他ノ職ニ轉ス但其俸給ヲ減シ且

轉職ニ付キ生スル費用ヲ給セス又ハ其内一方ノミヲ料スルコトアリ

此罰ハ止々直接官吏ノミニ之ヲ用フヘシ

第二職務ヲ免ス

此罰ハ自然官名ヲ失ヒ及ヒ退隱料ヲ求ムルノ權ヲ失フ但懲戒裁判ヲ終ル前ニ他ノ事故ニ因テ職務ヲ辭スルハ懲戒裁判ニ於テ別段官名ヲ失ヒ及ヒ退隱料ヲ求ムルノ權ナキコトヲ言渡ス可シ

退隱料ヲ求ムルコトヲ得ヘキ官吏事情ノ輕キ所犯ニシテ免職ヲ言渡セラレタル者ニハ懲戒裁判ニ於テ其事情ヲ圖リ退隱料ノ一部ヲ終身又ハ年限ヲ定メ之ヲ給スルコトヲ得

第十七條 第十四條ヨリ第十六條ニ定メタル罰ヲ科スルニハ其職務ニ關シ犯シタル事柄ノ輕重ト其人ノ平生ノ行狀トヲ審カニシ相當ノ罰ヲ科スヘシ但第八條第九條ハ格別ナリトス

第二章

懲戒裁判手續

第十八條 總テ長官ハ其屬官ニ對シ同責譴責ヲ行フノ權アリ

第十九條 長官ヨリ罰金ヲ科スルニハ左ノ制限ニ從フ可シ

州ニ屬スル諸長官ハ(州長縣令ヲ除キ郡長マテヲ含ム)諸屬官ニ對シ九「マルク」迄ノ罰金ヲ科スル權アリ郵便局長ハ其屬官ニ對シ同額ノ罰金ヲ科スル權アリ其他ノ屬官長ニハ別段法律ニ定メタル場合ニ非サレハ罰金ヲ科スルノ權アリ

州長縣令ハ其屬官ニ對シ九十「マルク」マテノ罰金ヲ科スル權アリ但俸給ヲ受クル官吏ニ科スルトキハ一月分ノ俸給高ヨリ越ユヘカラス

卿ハ直接又ハ間接官吏ニ對シ一ヶ月分ノ俸給ヲ沒スルノ權アリ若シ俸給ヲ受ケサル官吏ナレハ九十「マルク」マテノ罰金ヲ科スルノ權アリ

第二十條 第十五條第四ニ掲ケタル下等吏ニ對シテ罰金ヲ科スルノ權アル長官ハ其屬官ニ對シ拘留ヲ科スルノ權アリ

九 「マルク」マテノ罰金ヲ科スルコトヲ得ル長官ハ三日間ノ拘留ヲ科スルノ權アリ

第二十一條 懲罰ノ申渡ニ對シテハ法律ニ定メタル裁判所ニ故障ヲ申立ルコトヲ得(郡長及ヒ郡總代ノ申渡シタル懲罰ニ對シテハ二十一日内ニ自治長ノ申渡ニ對シテハ十日内ニ縣行政裁判所ニ訴訟ヲ爲スコトヲ得縣令又ハ縣輔佐官長ノ申渡ニ對シテ

ハ二十一日内ニ上等行政裁判所ニ訴訟ヲ爲スコトヲ得)

第二十二條 免役ハ懲戒裁判ヲ以テ之ヲ申渡ス可シ其裁判ハ豫審委員ヲ以テ糾問ヲ爲シ且後數條ニ掲クル規則ニ從テ對審ヲ爲スヘシ

第二十三條 懲戒裁判ノ手續ヲ始メ且糾問委員ヲ命スル者ハ左ニ掲ケタル人ニ限ルヘシ

一 懲戒裁判所ニ屬スル事件(第二十四條第一見合)ニ付テハ被告人ノ長官タル卿

但事件ノ至急ヲ要スルハ先ツ其省ニ屬スル局長裁判手續ヲ始メ且糾問委員ヲ命スルコトヲ得然ナカラ直チニ卿ノ許可ヲ受クヘシ若シ卿ニテ其許可ヲ肯セサルハ直チニ

手續ヲ中止スヘシ

二 前項ヨリ其他ノ事件ニ付テハ懲戒裁判ヲ爲ス可キ官署
(第二十四條第二項)ノ長又ハ其官署ヲ管轄スル卿

懲戒裁判ヲ始メ又ハ糾問委員ヲ命スルコト左ノ如シ

一 村長輔佐人及ヒ里長其他村區ノ役人並區長及ヒ其他區ノ
役人ニ對シテハ郡長又ハ縣令

二 郡總代及ヒ邑總代ニ對シテハ縣令

三 州自治長及ヒ州規則第九十三條ニ從テ州自治輔佐官並ニ
其他州ノ職制ニ載セタル他ノ役人ニ對シテハ州自治長

四 州自治長及ヒ第三ニテ取除ケタル役人並ニ州總代州輔佐
官及縣輔佐官ノ選舉セラレシ者ニ對シテハ內務卿

五 縣行政裁判所ノ小役人ニ對シテ縣行政裁判所長又ハ上等
裁判所長

第二十四條 初審懲戒裁判所ハ左ノ如シ

第一 國王又ハ卿ヨリ命セラレタルカ又ハ認可セラレタル官吏
ニ對シテハ伯林ニ在ル懲戒裁判所

第二 左ニ掲クル州内役所則縣又ハ學校事務局租稅局礦山局土
地義務解放局陸軍裁判所伯林警察本署鐵道委員局但シ以
上ノ諸局ノ官吏ニ對シ前項ノ官吏ニ非ルハニ限ルヘシ
懲戒始審裁判所ハ以下ニ掲クル者ヲ云フ

① 區長、村長、輔佐官、里長、並ニ村區ノ其他ノ役人及ヒ郡ノ役
人ニ對シテハ郡總代始審裁判ヲ爲ス

二 郡總代邑總代人州自治官及ヒ其他ノ州ノ役人並ニ州總代人及州輔佐官縣輔佐官縣行政裁判所ニ勤ムル下等役人ニ對シテハ縣行政裁判所始審裁判ヲ爲ス

三 上等行政裁判所ノ下等役人ニ對シテハ上等行政裁判所始審裁判ヲ爲ス

第二十五條 第二十四條ニ掲ケタル諸局ニ屬セサル官吏ノ懲戒裁判所ト爲ルモノハ其職務ヲ勤ムル地ノ縣廳ヲ以テスヘシ伯林又ハ外國ニ於テ職ヲ俸スル官吏ハ「ポツダム」ノ縣廳ヲ以テ始審裁判所トス

第二十六條 内閣(内閣トハ諸省ノ卿ノ集會シテ評議ヲ爲ス所)ハ州ノ役所ノ權限ヲ廣メテ卿ヨリ命スルカ或ハ認可シタル官

吏ノ伯林懲戒裁判所ニテ審判ス可キ者ヲ州ノ或ル等級ニ因テ之ヲ州ノ懲戒裁判所ニテ審判セシムルコトヲ得併ナカラ定式ノ俸給ヲ受クル州ノ官吏ニシテハ此例ヲ用フルコトヲ得ス

第二十七條 管轄懲戒裁判所ニ於テ裁判官ノ官員ニ不足アルカ又ハ檢事若クハ被告人ノ申立ニ因リ管轄裁判所ニテ正當ノ裁判ヲ爲ス可カラサル理由アルキハ内閣ニ於テ其裁判所ニ換フルニ他ノ裁判所ヲ指定スヘシ

第二十八條 懲戒裁判所ノ管轄違ノ争ハ内閣ニ於テ伯林懲戒裁判所ノ意見ヲ聞キ之ヲ決定スヘシ

第二十九條 伯林懲戒裁判所ハ所長一人裁判官十人ヲ以テ組立テリ其内少クトモ四人ハ大密院ノ判事ヲ以テ組立ヘシ伯林懲

戒裁判官ハ國王ヨリ三年間ノ期限ヲ以テ之ヲ特選ス
其期限内ニ更ニ他ヨリ命セラレタル裁判官ハ其期限ノ終ハル
マテ其職ヲ勤ムヘシ其職ヲ止ムル後ト雖モ更ニ再ヒ裁判官ニ
任セラル、コヲ得

第三十條 伯林懲戒裁判所ニ於テ裁判ヲ爲スニハ少クモ所長ヲ
合セ七人ヲ以テスヘシ其内少クモ二人ハ大審院ノ判事タルコ
ヲ要ス

第三十一條 總テ懲戒裁判所ニ於ケル裁判ハ別段ノ全員會ニ於
テ爲スヘシ其全員會ニハ少クトモ可否ノ權ヲ有スル官吏三人
アルコヲ要ス(官吏ニテモ可否ノ權ヲ有セサル者アリ)縣全員
會ニ於テハ縣ノ全員會章程ニ(裁判官ハ所長ノ許可ヲ得テ尋

間スルコナリ)テ裁判ヲ爲スヘシ其他ノ州ノ全員會ニ於テハ
唯々定式ノ俸給ヲ受ル官吏之ニ加ハルヘシ
鐵道委員局ニ於テ懲戒裁判ヲ爲スニハ其委員局ノ在ル地ノ縣
ヨリ定式定リタル裁判官ヲ以テ之ヲ爲スヘシ伯林警察本署ニ
テハ其署中ヨリ法律家ヲ選ヒ裁判官ト爲シ定メ置クヘシ
都テ如此臨席セシ人ハ十分ノ可否權ヲ有セリ故ニ其人員集會
スルトキハ裁判所ニテ爲スモ同様ナリ

第三十二條 懲戒裁判ノ豫審ニ於テ被告人ヲ呼出スニハ被告事
件ヲ掲ケ示シテ之ヲ呼出スヘシ被告人出頭シタル時ハ訊問ヲ
爲スヘシ證據人ハ始メニ誓言ヲ爲シタル上ニテ訊問ヲ爲シ且
被告人件ヲ明カニスル爲メ必要ナル證據物ヲ集取スヘシ

檢事ノ職務ハ懲戒裁判ヲ始メシ裁判所ニテ命シタル人ヲ以テ爲スヘシ

檢事ノ職務ハ懲戒裁判ヲ始メシ裁判所ニテ命シタル人ヲ以テ爲スヘシ

被告人及ヒ證據人ヲ訊問スルニハ誓言ヲ爲シタル書記之ニ立會フヘシ

第三十三條 被告人ノ長官タル卿ハ豫審ノ模様ニ因リ其他ノ手續ヲ止メ且場合ニ於テハ只々懲罰ヲ科スルノ權アリ

其他ノ長官ヨリ豫審ヲ始メ而シテ其手續ヲ止メント欲スルハ卿ニ其事由ヲ申出テ裁決ヲ仰クヘシ

前二ノ場合ニ於テハ被告人ハ其手續ヲ止メシ理由書ヲ請受クヘシ

第三十四條 裁判手續ヲ中止セサル場合ニハ檢事ヨリ訴訟狀ヲ懲戒裁判所ニ差出シタル後其謄本ヲ被告人ニ下付シ裁判所長

ノ指定シタル期日ニ裁判所ニ出頭セシム

第三十五條 對審裁判ノ時ハ公ケニ爲ス可カラズ專任判事ハ先

ツ豫審ヨリノ手續ヲ述ヘ次ニ被告人ハ訊問ヲ受ケ其次ニ檢事ヨリ意見ヲ述ヘ其次ニ被告人ハ之ニ答辨スヘシ

第三十六條 裁判官ハ被告人又ハ檢事ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ一人又ハ數人ノ證據人ヲ聞糺ス(派出委員ニ命シテ之

ヲ糺問スルトモ又ハ自カラ之ヲ訊問スルモ妨ナシ)又ハ被告事件ヲ明カニスル爲メ他ノ證據物ヲ集取スルコトヲ至當ナリトスルハ相當ノ命令ヲ爲シ且場合ニ因テハ裁判ヲ一日停止ス

ルヲ得但其次ノ裁判時日ハ被告人ニ通知スヘシ

第三十七條 對審ニ出席シタル被告人ハ代理人ヲシテ已レヲ助ケシムルヲ得出頭セサル被告人ハ代理人ヲシテ已レヲ代理セシムルヲ得但裁判所ハ被告人ノ出頭ヲ要用トスルハ必ス之ヲ出頭セシメ代理人ヲシテ代理セシムルヲ禁ス

第三十八條 懲戒裁判所ノ裁判ニ於テハ裁判官ハ必シモ證據物ニ因ルヲ要セス是迄ノ手續ヨリシテ感觸シタル心證ニ因テ判決スヘシ

其判決ハ止タ懲罰ノミヲ科スルヲ得(免職ヲ爲サスシテ)其判決ニハ必ス其判決ノ理由ヲ掲クヘシ對審裁判ノ終リシ時又ハ翌日ニ其判決ヲ言渡スヘシ且被告人ノ請求ニ因リ其謄本ヲ

下付スヘシ

第三十九條 對審シタルコトハ調書ニ記スヘシ其調書ニハ其席ニ出頭セシ者ノ氏名ト其對審ノ肝要ナル事件ヲ掲クヘシ所長書記之ニ署名スヘシ

第四十條 懲戒裁判所ノ判決ニ對シテハ故障ヲ申立ルヲ得ス
第四十一條 懲戒裁判所ノ判決ニ對シテハ檢事又ハ被告人ヨリ内閣ヘ控訴スルヲ得ヘシ(郡總代ノ判決ニ對シテハ縣行政裁判所ニ控訴ヲ爲スコトヲ得其控訴裁判ハ對審裁判ヲ以テスヘシ檢事ノ職務ヲ勤ムル者ハ縣令ヨリ之ヲ命スヘシ)(縣行政裁判所ノ判決ニ對シテハ上等行政裁判所ニ控訴スルヲ得其檢事ノ職務ヲ勤ムル者ハ內務卿ヨリ之ヲ命ス可シ)

第四十二條 控訴ヲ爲スニハ判決申渡アリシ裁判所ノ書記局ニ
控訴ヲ爲スコキ旨ヲ申出ルカ又ハ書面ヲ以テ通知スヘシ又被
告人ハ代理人ヲシテ控訴セシムルコトヲ得

其期限ハ四週間ナリトス但判決申渡ノ日ヨリ起算ス若シ被告
人闕席シタルトハ判決書ヲ送達シタル次日ヨリ起算ス

第四十三條 控訴狀ヲ差出スニハ控訴ヲ爲スコキ旨ヲ申立タル
日ヨリ十四日内ニ之ヲ差出スヘシ

控訴原告人ノ請求ニ因テハ更ニ其期限ヲ延フルコトヲ得
控訴ニ關スル事件ノ外ハ控訴裁判所ニ差出スコトヲ得ス

第四十四條 控訴ヲ爲スコキノ通知及ヒ控訴狀ハ謄本ヲ作り之
ヲ被告人ニ送付スヘシ若シ檢事ノ被告ニ係ルトハ之ニ正本ヲ

送付スヘシ

其送付シタル後十四日内ニ被告人ヨリ答辨書ヲ差出スヘシ
其期限ハ被告人ノ請求ニ因リ更ニ延ハスコトヲ得

第四十五條 前條ノ期限ノ經過シタル後一切ノ訴訟書類ヲ内閣
ニ差出スコシ(行政裁判所ニ於テ裁判ヲ爲シタル時ハ其控訴
ス可キ行政裁判所ニ差出スヘシ)

内閣ハ内閣ノ長ヨリ命シタル專任判事ノ陳述ニ因テ決定スコ
シ但伯林ノ懲戒裁判所ニテ始審裁判所ト爲テ判決シタル事件
ニ就テハ内閣長ヨリ命シタル專任判事二人ノ陳述ヲ要ス但其
一人ハ司法省ノ官吏タルヘシ

州ノ官署ノ判決ニ對スル控訴ハ内閣ハ先ツ伯林ノ懲戒裁判所

ノ意見ヲ聞タル上之ヲ裁決ス可シ（行政裁判所ノ判決ニ對スル控訴ニ於テハ伯林懲戒裁判所ノ意見ヲ聞クヲ要セス）
伯林懲戒裁判所ハ意見ヲ聞カレタルキ其事件ヲ明カニスル爲メ必要ナル命令ヲ發スルヲ得又對審ヲ爲シテ調フルヲ得其對審ニハ被告人檢事ヲ立會ハスヘシ此場合ノ檢事ハ被告人ノ長官タル卿ヨリ之ヲ命ス可シ

第四十六條 伯林懲戒裁判所ノ判決又ハ意見ニ依リ被告人ヲ放免スヘシト決シタルキ又ハ同責譴責ノミニ決シタルキハ内閣ハ被告人ヲ罰ス可キ者ト看認ルキハ職務ヲ免スルヲ（第十六條第二項ノ場合ヲ云フ）ヲ得スト雖モ輕キ懲戒罰則（第十四條）ヲ用フルカ又ハ一時休職料ヲ與ヘテ休職セシムルヲ得

第四十七條 懲戒裁判所ノ（伯林ヲ除ク）判決ニ對シ控訴ヲ爲スコナク且其判決ニ因テ職務ヲ免シタル時ハ其職務ヲ免セラレタル官吏ノ國王ヨリ特任セラレ、カ又ハ認可セラレタル者ナルハ其判決ハ國王ノ認可ヲ要スヘシ

第三章 一時職務ヲ停止スル事

第四十八條 左ノ場合ニ於テハ自ラ職務ヲ停止シタル者トス

- 一 通常裁判所ヨリ逮捕セラレタルキ又ハ職務ヲ失フ可キ判決或ハ法律上ヨリ自然職務ヲ失フヘキ判決ヲ受ケタルキ（控訴期限内ト雖モ亦然リ）
- 二 懲戒裁判ニ於テ職務ヲ免スヘキ判決ヲ受ケタルキ（控訴期限内ト雖モ亦然リ）

第四十九條 前條ノ第一ニ掲ケタル場合ニ於テ逮捕ヲ免シタル後又ハ最終裁判ノ判決ニ因テ始審裁判所ノ言渡ヨリ他ノ罰ヲ受ケタル後ト雖モ仍ホ十日ヲ經過スルマテハ其職務ヲ停止シタル者トス

最終ノ判決ニ於テ自由ヲ奪フ可キ刑ヲ科シタルキハ其刑期ヲ終ルマテハ職務ヲ停止セシメタル者トス其刑ト執行犯人ノ過誤ニ非スシテ延引又ハ中止シタルキハ(刑ノ場所ナキノ類)其間ノ日數ハ俸給ヲ減ス可カラズ(第五十一條ヲ見ルヘシ)本條ノ第一項ニ掲ケタル十日ノ期限内ニ於テ懲戒裁判ノ手續ヲ以テ一時職務ヲ停止セサルキモ亦俸給ヲ減ス可カラズ

第五十條 懲戒裁判ヲ爲ス可キ官署ハ官吏ニ對シ通常刑事裁判

手續ノ始ルカ又ハ懲戒裁判ノ手續ノ始リタルキハ最終裁判ノ終ルマテハ其職務ヲ停止スルコトヲ得

第五十一條 職務停止中ハ俸給ノ半額ヲ受ク可シ

俸給ノ半額ヲ計算スルニハ職務上ノ費用ハ(筆墨料官宅借賃ノ類別ニ給スルモノ)算入ス可カラズ

未タ交付セサル俸給ノ分ハ被告人ノ職務ヲ代理セシムル費用ニ充ツヘシ若シ其費用ニ充ルモ仍ホ殘額アレハ懲戒裁判費用ニ充ツヘシ被告人ノ手ヨリ代理費用ヲ出サシムルコトナシ

第五十二條 官吏ノ受取高(月給職務上ノ費用料)ノ未タ費用(第五十一條)ニ充テサル分ハ此懲戒裁判ニ因テ免職(第十六條)ヲ命シタルキハ之ヲ給セス

其官吏ハ受取高ノ仕拂方ニ付テ不足ヲ求ルコトヲ得ス併ナカラ
其官吏ノ求ニ因テハ其仕拂ノ精細書ヲ下付スヘシ

第五十三條 官吏ノ懲戒裁判ニ因テ無罪ニシテ放免トナリシハ
ハ俸給ノ拂ハサル分ヲ全給スヘシ

若シ懲罰ヲ科セラレタルハ其未タ下付セサル俸給ノ裁判費
用及ヒ懲罰ニ充ツルニ仍ホ殘額アルハ代理費用ヲ扣除スル
コトナク之ヲ其官吏ニ給ス可シ

第五十四條 至急ヲ要スル場合ニハ本來職務停止ヲ命スル權ナ
キ長官ト雖モ一時職務停止ヲ命スルコトヲ得但其停止シタル事
ヲ其長官ニ報告スヘシ

第五章 村ノ官吏ニ關スル別段ノ規則

第七十八條 國王又ハ縣又ハ縣令ヨリ命セラレタルニ非ス又ハ
其認可モ受ケサル村ノ役人ニハ左ノ規則ヲ用フヘシ

縣令ハ無論又村ノ役人ヲ命シ又ハ認可スルコトヲ得ル官吏ハ村
ノ役人ニ對シ懲戒裁判ヲ用フ可キ者ト認ルハ其裁判ヲ開キ
且糺問委員ヲ命スルコトヲ得豫審手續ノ終リタルハ其書類ヲ
縣令ニ送ルヘシ

第七章 一時備ノ役人又ハ見習等ノ免職ニ關スル別段ノ規則
第八十三條 一時試験ノ爲メ又ハ一時備入又ハ其他何時ニテモ
免職ヲ爲サシムルコトヲ得ル役人ハ懲戒裁判ノ手續ヲ用フルコ
トナク其役員ヲ命シタル官署ニ於テ直チニ免職スルコトヲ得
一時備入ヲ以テ命シタル役人ヲ免職シタルハ何レノ場合ニ

テモ其備入期限マテハ其俸給ノ全額ヲ給付スヘシ

第八章 懲戒裁判ニ拘ハラサル職務上ノ命令

第八十七條 左ニ掲クル命令ハ職務ニ關スルト雖モ懲戒裁判ノ

干預スル事件ニ非ス但第四十六條ノ場合ハ格別ナリトス

一同等ノ地位ニシテ同等ノ俸給且轉職ニ付キ生スル費用ヲ給

シテ他ノ職ニ轉スル時

兼任ニ因テ得タル俸給ヲ得サルニ至リ又ハ職務上ノ費用料

ヲ得サルニ至ル場合ハ之ヲ俸給ノ減シタル者ト看做サス

郡内ニ住居スルカ爲メ選ハレテ郡長ニ命セラレタル者ハ

(其郡内ニ住居シテ)其選舉セラル、ノ要件ノ存スル間ハ懲

戒裁判ニ因ルニ非サレハ其郡長ノ意ニ反シテ他ノ職ニ轉ス

ルコヲ得ス

二千八百四十四年六月十四日及ヒ十月二十四日ノ法律ニ從

テ休職料ヲ與ヘテ一時休職セシムル時(命令ナリ)

其法律ニ掲ケタル場合ノ外左ニ掲ケタル官吏ハ何時ナリト

モ國王ノ命令ニ因テ休職料ヲ與ヘテ休職セシムルコヲ得

大輔「ランドンデルスターツセクレテイル」

少輔「ミニスリアールヂレクtoorル」

州長「ヨ、ベルプレシデント」

縣令及ヒ副縣令「レギールングスプレシデントビーツプレ

シデント」

陸軍裁判官「ミリテールインデندانント」

裁判所ノ檢事「スターツアンワルトバイデンゲリヒテン」

警視本署長「ポールステートヘルキヨニヒルヘルポリサイベ

ヒョールデン」

郡長「ラントラート」

公使及ヒ其他ノ交際官「ゲサンテ〇ヂプロマーチセアゲンテ
ン」

休職料ヲ受取ル者闕官アリテ其闕ニ補フ可キ爲メ相當ノ人ナ
ルハ先ツ其者ヲ其闕ニ補フ可シ

三此法ノ第八十八條以下ニ從テ退隱料ヲ與ヘテ全ク退職セシ
ムル時

第八十八條 盲目トナルカ聾又ハ不具トナルカ又ハ身体精神ノ

衰弱シテ續テ其職ヲ任スルコ能ハサル時ハ退職セシム可シ

第八十九條 前條ノ場合ニ至リシ官吏自ラ辭職ヲ求メサルハ
其長官ヨリ本人又ハ別段ノ代理人ニ退隱料及ヒ其退隱ノ理由
ヲ示シ退職セシムルコヲ命スヘシ

第九十條 前條ノ命令ヲ受ケタル後六週間内ニ其長官ニ退隱ノ
事ニ付キ故障ヲ申出ルコヲ得若シ其申出タル場合ニ於テハ其
長官タル卿ニ裁決ヲ仰クヘシ
卿ハ國王ヨリ命シタル官吏ニ非サレハ自ラ裁決ヲ爲ス可シ
其裁決ニ對シテハ其裁決ヲ受ケタル日ヨリ四週間内ニ内閣ニ
控訴スルコヲ得控訴ヲ爲シタル時ト雖モ卿ヨリ一時職務ヲ停
止スルコヲ命スルヲ得

若シ國王ヨリ命シタル官吏ナレハ内閣ヨリ其故障ヲ國王ニ差
出シ國王之ヲ決定ス可シ

第九十一條 退隱ノ命ヲ受ケタル官吏ハ退隱ノ確定シタル翌月
ヨリ算ヘ三月間ハ俸給ノ全額ヲ給スヘシ

第九十二條 退隱ノ命ヲ受ケタル官吏六週間内ニ故障ヲ申立テ
サル時ハ其官吏自ラ辭職シタル者ト看做ス可シ

俸給ノ全額ハ前條ニ定メタル期限内給スヘシ

第九十三條 退隱料ヲ受ク可キ年限ニ至ラサル前ニ其職務ヲ勤
ムルコト能ハサル場合ニ至リタルハ本人自ラ退隱ヲ欲セスト
モ懲戒裁判ノ手續ヲ以テ退隱セシムルコトヲ得然レモ裁判所ニ
於テ退隱料ヲ受ク可キ年限ヲ勤メタル者ト同様ニ退隱料ヲ給

ズ可キコトヲ至當ナリトシタルハ第八十八條ヨリ第九十二條
ニ至ル規則ニ從テ之ヲ給スヘシ

第九十四條 前數條ニ掲ケタル一時休職セシムルト全ク退隱セ

シムル規則ハ直接官員ニノミニ適用スルナリ

第九十五條 間接官員ニ付テハ間接官員退隱規則ニ依ルヘシ
但間接官員退隱料ヲ受ク可キ年限ニ至ラサル前其職ヲ勤ムル
コト能ハサリシ場合ニ至リタルハ直接官員ノ爲メニ定メタル
方法(第九十三條)ニ從ヒ退隱セシメラル、コトヲ得

第九十六條 第八十七條ヨリ第九十五條ニ至ル規則ハ大學校ノ
教師ニハ之ヲ適用ス可カラズ

第三章 區ノ經界及ヒ區長ノ職務土地所有主ノ警察權ヲ廢ス

ル事

第三十六條 警察ニ付テハ都テ國王ノ名ヲ以テ之ヲ行フ

土地所有主ノ警察權ハ此規則ヲ以テ今ヨリ之ヲ廢ス

區ノ經界

第三十七條 警察及ヒ其他公ケノ事件ニ關シテ行政ヲ行フニ便利ナルカ爲メニ各部ヲ區ニ分ツ(邑ヲ除ク)

區ヲ設立スル事

第三十八條 區ヲ設クルニハ左ノ原則ニ依ルヘシ

- 一 凡ソ區ヲ作ルニハ各土地ノ相接近シテ成ル可ク一團結ヲ爲シ且區ノ大小及ヒ人口ノ多少ハ適度ニ之ヲ定メ一ニハ法律ニ於テ區(區ノ人民)ニ爲サシム可キ義務ヲ盡スニ足ル可ク又一ニハ區長

(代理ヲ要セス)自ラ其職ヲ行ヒ且無給ニシテ其職ヲ奉スルニ不便ナラサルカ爲メナリ

二 法律ニ定メタル區ノ行政ヲ村ノカヲ以テ自ラ治ムルニ足ルヘキ且其地位ニ於テ近傍ニ他ノ村里ノ之ニ加ハル者ナキハ村自ラ一區ヲ作ルコトヲ得

三 他ノ村里ニ接近スルコトナク獨立シタル里ノ一團結ヲ爲シ且其土地ノ廣大ニシテ第一第二ニ記載セシ如キ性質ヲ備ヘシ者ハ人口ノ多少ニ拘ハラヌ一區ヲ作ルコトヲ得

四 都テ以上ニ記載スル以外ノ村及ヒ里ハ各區ニ合併セラルヘシ最モ其位地ノ相接近シタル村里ヲ附合シテ區ト爲スヘシ
區ヲ作ルニハ成ル可ク郡ノ内ニアル組合ヲ相分析セスシテ之ヲ

作ルヘシ(組合トハ寺ニ付テ組合學校組合道普請組合等ヲ云フ)

第三十九條 區ヲ作り並ニ區ヲ變スルニハ郡會ノ申立ニ依リ關係者ノ意見ヲ聞キ内務卿之ヲ命スヘシ以上ノ場合ニ於テ再ヒ改正シテ之ヲ確定シ並ニ後日之ヲ變スルコトハ預シメ關係者及ヒ郡會ノ意見ヲ聞キ内務卿ト協議ノ上州輔佐官ニテ之ヲ爲ス可シ其確定ハ公告シタル期限ノ經過ヲ爲シタル後之ヲ爲スヘシ村又ハ里ノ經界カ同時ニ區ノ經界ニアルキハ村里ノ經界ヲ變スルキハ區ノ經界モ亦從テ變スヘシ

第三十九條 (A) 州輔佐官ハ關係者及ヒ郡會ノ意見ヲ聞内務卿ト協議ヲ遂ケタル上ニテ郡ニ屬スル邑ノ經界ノ内ニアルカ又ハ邑ニ直チ

ニ疆界ヲ爲シタル村里(7)ノ警察事務ヲ邑ニ付與スルコトヲ得但其之ヲ爲スコトハ公益ニ關スル必要ナル場合ニ限ルヘシ關係者ノ間ニ協議相整ハサルキハ縣輔佐官ハ(州規則第六十七條)村里ヨリシテ邑ニ出スヘキ警察費ヲ確定スルコトヲ得其確定ニ對シテハ州輔佐官ニ故障ヲ申立ルコトヲ得州輔佐官ハ内務卿ト協議ノ上第一項ノ場合ニ於テ同時ニ村里ヲ從來ノ區ヨリ離ス申渡ヲ爲スコトヲ得之カ爲メ必用ナル財産ト負債ノ關係ハ郡總代ノ決定ニ因テ關係者間ニ割付クヘシ其決定ニ對シテハ二週間内ニ行政裁判手續ヲ以テ裁判ヲ爲サンコトヲ求ムルヲ得千八百七十五年六月二十四日ニ發シタル州規則ニ依テ本條ヲ補ヘリ其第六十四條(三)千八百七十二年十二月十三日ニ發シタル郡規則

第三十九條一項ニ從テ内務卿ヨリ命シ作りタル區ヲ改正及ヒ確定スルコト並ニ之ヲ變スルコトハ州ノ輔佐官之ヲ爲スノ權アリ
區ノ改正ヲ確定スルコトハ公告ヲシテ相當ノ期限ヲ經過シタル後ニ其確定ヲ爲スヘシ

郡規則第三十九條ニ從テ作タル區ヲ變スルコト並ニ後日之ヲ追々變スルコトハ州輔佐官ヨリ先ツ關係者ト郡會ノ意見ヲ聞キ内務卿ト協議ヲ遂ケ之ヲ爲スヘシ

區行政官ノ事

第四十條 區ノ行政官ハ此郡規則ニ從テハ區長ト區總代ナリ

區總代ノ事

第四十一條 區總代ヲ設クルニハ追テ村規則ヲ發行スル迄左ノ條款

ニ從テ之ヲ立ツヘシ

一 數多ノ村里ヨリ區ノ成立タル者ニ於テハ都テ區ニ屬スル村及ヒ里ノ代理人ヨリ區總代ヲ立ツヘシ

村ノ代理人ハ村長及ヒ輔佐人ヨリ成立ツヘシ若シ其代理人ノ數之ヨリ多キコトヲ要スルハ村ヨリ選フ可キ他ノ代理人ヲ以テス各村ヨリ出ス可キ代理人ノ員數并各里ニ與フ可キ投票ノ數ハ郡會ニ於テ郡總代ノ申立ニ依リ關係者ノ意見ヲ聞タル後村ノ租税高及ヒ人口ノ多少ニ注意シ規則ヲ以テ其數ヲ定ムヘシ

其規則ニ對スル故障ハ縣輔佐官ニテ終審ノ裁定ヲ爲スヘシ

區總代タル村里ノ代理人ハ第九十六條①②ノ性質ヲ有スル者ニ限ルヘシ

二唯タ一村ヨリ成立チタル區ニ於テハ村全員會又ハ村總代會ニ於テ區其代ノ職務ヲ行フヘシ

三唯タ一里ヨリ成立タル區ニ於テハ區總代ヲ設ケス

④地方行政權限法第五十二條ヲ以テ本條ヲ補ヘリ則第五十二條ニ州輔佐官ハ千八百七十二年十二月十三日ニ發シタル郡規則第五十一條第一ノ第三項ニ從テ區總代ヲ立ル爲メニ郡會ヨリ發シタル規則ニ關スル故障ニ付終審ノ裁決ヲ爲スヘシ

千八百七十三年十二月十八日ニ發シタル區總代ヲ立ルニ關スル內務卿ノ布達

數多ノ村里ヨリ成立チタル區ノ爲メニ發ス可キ規則ハ最モ注意シテ區總代ノ爲メ多數ノ代理人ヲ出サシメサルヘシ何トナラハ區總代ノ職務ハ甚タ人ノ煩ハシキ所トスレハナリ是故ニ村里ノ代理人又ハ投票ノ數ヲ定ムルハ租稅高及ヒ人口ノ多少ノ瑣々タルノ相違ニ於テハ之カ爲メ其數ヲ増ス可カラス

某區ノ區總代ヲ作ル爲メニ設ケタル規則ノ法式

千八百七十二年十二月十三日ニ發シタル郡規則第五十一條ニ從ヒ郡總代ノ申立ニ因リ關係者ノ意見ヲ聞タル上ニテ左ノ規則ヲ茲ニ發行ス

第一條 某區ノ區總代ハ左ノ如シ

一區總代ノ長ト爲ル可キ區長

二區總代十四人

郡規則一

但(イ)村ヨリ代理人四人(ロハ)村ヨリ各代理人二人(ニホヘ)村ヨリ各代理人一人(ト)里ヨリ代理人一人ニツノ投票權ヲ有ス
(チリ)里ヨリ各代理人一人各一ツノ投票權ヲ有ス

第二條 (イ)村ノ代理人ハ村長輔佐人二人及ヒ村全員會又ハ村總代會ヨリ三年又ハ六年間ノ期限ヲ以テ選ヒタル代理人一人若シ期限滿デ其職ヲ離ル、キハ新任者ノ其職ニ就ク迄ハ其職ヲ離ル、トヲ得ス又被選舉ノ權ヲ失フキハ期限中ト雖モ自カラ其職ヲ失フヘシ(ロハ)ナル各村ノ代理人ハ村長及ヒ先任ノ輔佐官若シ同日ニ任セラレシ者ナルキハ八年長ノ輔佐官
(ニホヘ)ナル各三村ノ代理人ハ村長
(トチリ)ナル各里ノ代理人ハ里長

某年某月某日

某郡ノ郡會

①郡總代タルヘキ代理人ノ選舉手續(第四十一條第一)ニ對シテハ選舉會ニ加ハリタル者ヨリ二週間内ニ選舉掛頭取ニ故障ヲ申立ルアルキハトヲ得其故障ニ付テハ關係者ヲ聞糺シタル上區總代ニ於テ之ヲ決定スヘシ
又區總代ハ職務上ヨリ總代タル者ノ正當ナルヤ否ヲ檢査決定スヘシ
被選舉ノ要件アラサルトノ明カナルキハ又ハ其要件ノ全ク又ハ一時止ミタルトキハ其選舉ハ永久又ハ一時其効ヲ失フヘシ又直チニ法律ニ因テ區總代タル者ニ付テモ同シ其場合アルヤ否ハ區總代之ヲ決定スヘシ

本條ニ從ヒ區總代ニテ爲シタル決定ニ對シテハ二週間内ニ郡總代ニ訴フルコトヲ得區長ヨリモ亦訴フルコトヲ得其訴ハ停止ノ効ヲ有セスト雖モ終審ノ判決アルマテハ補欠選舉ヲ爲ス可カラ

ス
區總代ハ訴訟ノ爲メ別段ノ代理人ヲ命スルヲ得

第四十二條 區總代ノ職務權限ハ左ノ如シ

一總テノ區費ヲ監督シ及ヒ區ノ行政ニ係リ區内ヨリ區費ヲ取立ツヘキコトヲ許可スル事(第六十九條及ヒ第七十條第四項ヲ參看スヘシ)千八百七十三年六月十日ニ於テ千八百七十三年四月三十日ノ法律ニ依テ州郡ノ公用ニ供シタル金高ヲ分配スル事ニ付内務及ヒ大藏省ノ布達○區行政ノ費用ニ屬スルモノハ郡規則第六

十九條ニ從ヘハ多クハ區長ノ職務ヲ勤ムル爲メニ供ス可キ費用高(其價高ヲ請求セシキ)ト及ヒ派出區長ニ與フヘキ手當金ナリ

區長ノ費用高ヲ評定スルハ預シメ其ノ模様ニ從テ左ノ費用ヲ折衷ス可シ

①區役所ヲ設クル爲メノ費用

②灯火煖爐筆墨紙筆工郵便等ノ費用

③區長ノ職務上ノ旅費

④區役所附屬ノ小使ノ手當金(中等以下ノ區ニテノ小使ハ他ノ役目ヲ通常兼タルモノナリ)

⑤區内ノ監獄ヲ作り及ヒ保持スル費用

區ノ書記ハ通常大ナル區ノミ之ヲ使用ス

職務ニ關スル費用高ハ郡規則第六十九條ニ從ヒ關係者ノ意見ヲ聞タル上郡總代ヨリ費用ノ全額ヲ定ムヘシ其之ヲ定ムル時々其高ニ増減アルノ慮アルヲ以テ預シメ其高ヲ増減シ得ヘキヲ記載スヘシ

證據人呼出費用捕縛拘留費用並ニ其他區ノ行政ニ關スル費用ハ前以テ其全額ヲ定ムルヲ得ス如此費用ニ充ルニハ郡規則第七十三條ニ從テ區長ヨリ科シタル罰金及ヒ沒收物ヲ以テ之ニ充ツヘシ若シ猶不足アリシハ區長ヨリ明細書ヲ作り之ヲ立替ヘシ
 派出區長ハ俸給ノ外ニ其職務ニ關スル費用高ヲ受クヘシ政府ヨリ給與シタル區ノ用意金ノ行政費用ニ充ツルニ不足ナルハ其不足

ハ各區ノ貧富ニ應シ之ヲ平均ニ割付クヘシ

郡規則第七十條ニ從ヘハ區ノ行政費用ヲ取立ルコトニ付キ關係者ノ協議ヲ遂ケサルハ郡規則ノ郡費賦科法ニ從テ之ヲ取立ツヘシ郡規則第十條ヲ參看スヘシ何分ノ一村一里ニシテ區ヲ立ルト割付テ取コナリ之ヲ拒ムコトヲ得ス
 一 村一里ニシテ區ヲ立ルハ區ノ行政費用ハ郡規則第七十一條ニ從ヘハ其他ノ區費ト等シク取立ツヘシ而シテ政府ヨリ用意金ヲ求ルコトヲ得ス

二 區長ト協議シテ發スルコトヲ得ル警察規則ヲ決定スル事(六十二條參看)

千八百五十年三月十一日ニ發シタル警察規則

第五條地方ノ警察權ヲ有スル官吏ハ村長ト協議ノ上村内ニ警察規則ヲ發スルノ權アリ若其規則ニ從ハサルハ九「マルク」迄ノ罰金

ヲ科スルノ權アリ

州長ノ許可シタル場合ニハ三十「マルク」迄ノ罰金ヲ科スルノ權アリ

州長ハ地方警察規則ヲ分付スル方法並ニ其他ノ法式ニ付必要ナル事件ヲ定ムルヲ得

第六條 地方警察規則ニ於テ定ムル事件ハ左ノ如シ

- ① 身体及ヒ財産ノ保護ノ事
- ② 街衢道路明地橋梁河岸水流ノ事ニ付キ整頓ヲ得ル事
- ③ 市場及ヒ公ケニ飲食物ヲ賣ル事
- ④ 多人數ニシテ公ケニ集會スル事
- ⑤ 外國人ニ旅宿ヲ貸ストニ關スル手數酒麥酒「カッヘ」店其他

割烹店ノ事

① 人命及ヒ健康ニ關スル

② 家屋ヲ建築スル時火難ノ豫防並ニ社會ニ對シ害ト爲ナラサル
様注意ス可キ事

③ 田畑牧場森林草木葡萄畑等ヲ保護スル事

④ 都テ村區郡及ヒ管下ノ人民ノ爲メ必要ナル事件ニ付

三區ノ經界ヲ變スルニ付テノ意見(第四十九條參看)

四區總代ノ決議ノ準備及ヒ施行スル爲メニ特別委員ヲ選ミ及ヒ之ヲ命スル

五區長ヨリ其權限内ニ於テ差出シタル他ノ行政事件(警察事務ニ對シテ其他ト云フ)ヲ決定スル事

第四十三條 一區ニ屬シタル村里ハ協議ヲ遂ケタル上ニテ或ル自治事件ヲ(例ヘハ貧窮人救恤法又道路建築ノ類)區ニ委托スルコトヲ得

區ニテ其委托ヲ受ケタル時之カ爲メ法律ニ掲ケサル他ノ費用ヲ生スルキハ區ヨリ村里ニ協議ヲ遂ケ村里ヨリシテ之ヲ出サシム

區總代ハ區ニ委托セラレタル自治事件ニ就キ其決定ヲ爲スヘシ

第四十四條 區長ハ區總代ヲ召集シ自ラ可否ノ權ヲ有シテ其會頭ト

爲ルヘシ區總代ノ會ハ通常公ケニ之ヲ開クヘシト雖モ或場合ニ於

テハ密會ニテ衆議ノ上傍聽ヲ禁シテ會議ヲ爲スコトヲ得

區總代ノ全數ノ半數出頭セサルキハ會議ノ決議ヲ爲スコトヲ得ス若

シ同事件ニ付キ再度召集スルモ仍ホ半數ニ充タサルキハ會議ノ決

議ヲ爲スコトヲ得但再度召集スルキハ必ス預メ再度ノ召集ニ於テハ半數ニ充タスト雖決議ヲ爲スヘキコトヲ通知シ置ヘシ
區總代ノ決議ハ多數ニ依テ決定ス若シ可非同數ナルキハ廢案ト爲ヘシ

第四十四條[Ⓐ] 區長ニ於テ區總代ノ決議ノ權限ヲ越ユルカ又ハ法律

ニ背キタル者ハ理由ヲ付シタル命令ヲ發シテ其施行ヲ停止スヘシ

場合ニ因テハ監督官署ノ指揮ヲ受ケテ其命令ヲ發スヘシ

區長ノ命令ニ對シテハ區總代ヨリ二週間内ニ郡總代ニ訴フルコトヲ

得區總代ハ行政裁判所ニ於テ其權利ヲ保護スルカ爲メ別段ノ代理人ヲ命スルヲ得

第四十五條 此郡規則ニ於テ區ハ村里ニ涉ル事件(鐵道掘割等)洽ク

波及スルコトニ就キ法律上ニ於テ人ト看做スヘキ者ノ權利ヲ有ス
(故ニ區ハ土地不動産ヲ賣買シ又ハ負債ヲ起スノ權利アリ)其法律
上ニ於テ人ト看做ス可キ者ハ他ニ對シテハ區長之ヲ代理ス

區ニテ義務ヲ負ヘキ證書ニハ區長及ヒ少クモ區總代一人之ニ手署
シ且區總代ノ其事件ニ付キ爲シタル決定ヲ附記スヘシ

第四十五條④ 郡總代ハ區ノ土地又ハ不動産ヲ賣却シ並ニ區ニ負債
ヲ起シタリ或ハ已ニ起セシ負債ヲ増加スル區ノ決議ヲ認可スヘシ
若シ其認可ナクシテ爲セシ契約ハ無効ノ者トス

村規則ヲ發行スルマデハ負債ヲ起スニハ總テ區ニ屬シテアル村里
ノ承諾ヲ必要トス

第四十五條⑤ 郡總代ハ監督官署ニ代リテ左ノ事件ヲ決定スヘシ

一區ニ對スル貸付ノ裁判執行法(千八百七十七年一月三十日ノ獨
逸訴訟法ヲ施行スル法律第十五條)

二千八百四十四年一月二十四日ノ布告ニ從テ區ノ出納局及ヒ其他
ノ財産管理ニ付キ生シタル不足金高及ヒ其賠償
會計官吏ノ精算書ヲ受取り又ハ其義務ヲ免カレシメンコトヲ拒ム

二三ノ決定ハ終審ナリトス其後通常裁判所ニ訴フルコトヲ得

第五十七條 此法ノ第四十三條第三(仕拂ノ方法ヲ定ムルコト)第四
十五條第一第二(選舉ノ法ニ背キシコト)ノ爭論第四十九條)

第四十五條⑥ 區ノ事件ニ關スル政府ノ監督ハ郡總代ニテ先ツ之ヲ
爲シ縣輔佐官ニテ最後ニ爲スヘシ

(村費ヲ出スコ第五十條)(仕拂ヲ爲スコ及ヒ拂高ノ不足ナルコ
第五十一條)法律上ノ義務ヲ盡サ、ルコ以上ニ掲クル所ノ數條ノ
規則ハ區ニ於テモ之ヲ適用スヘシ

第四十五條及ヒ第四十九條ニ掲ケタル決定ハ區總代ニ於テ之ヲ爲
スヘシ第六十條郡總代ハ區村里ノ公ノ事件ヲ監督シ(別段ニ掲ケ
タル場合ヲ除ク)縣ノ輔佐官ハ郡總代ノ爲セシ事件ヲ監督ス

區長

①區長ヲ選任スル事

第四十六條 區長ハ州長ヨリ命セララルヘシ之ヲ命スルニハ郡會ノ申
立ニ因ルヘシ其申立ヲ爲スノ手續ハ區内ノ人民ニシテ區長ノ職ヲ
奉スルニ十分ナルオカアル者ニ限ルヘシ州長ヨリ再度ノ申立ヲ命

スルト雖モ郡會ニ於テ之ヲ肯ンセサルキハ州輔佐官ハ州長ノ命ニ
從ヒ如何ナル人ヲ申立ツヘキヤヲ決定スヘシ

區長タル者ハ六年間ノ期限ヲ以テ命セララルヘシ區長ハ郡長ノ面前
ニ於テ誓約ヲ爲スヘシ

一村一里ヨリシテ區ト成立チタル者ハ村長里長ニシテ區長ノ職ヲ
兼ヌヘシ

②區長ノ代理

第四十七條 區ニハ區長ヲ命スル規則(第四十六條)ニ從テ區長ノ代
理人ヲ前以テ命シ置クヘシ
區長事故アリテ其職ヲ奉スルコ能ハサル場合ハ代理人之ヲ代理ス
ヘシ若シ區長ノ事故三日以上ニ至リシキハ其旨ヲ郡長ニ通知スヘ

シ
區長ノ職ノ闕官トナリシキハ後任ノ區長ヲ命セラル、マテハ代理人區長ノ職ヲ掌ルヘシ

區内ニ區長ノ代理人ト爲ルヘキ相當ノ人ナキキハ郡總代ヨリ其區ノ近傍ノ區長又ハ近傍ノ邑ノ邑長(邑會ト協議シタル上ニテ)ヲシテ一時ノ代理ヲ爲サシム可シ又同時ニ區長及ヒ代理人ノ闕官ト爲リ或ハ同時ニ事故アリシキモ亦同シ

區長躬ラ區ノ事件ニ關係シ(例ヘハ土地賣買ノ契約ニ區長ノ私ニ關係アルノ類)タルキハ郡總代ハ區長代理人カ又ハ近傍ノ區長又ハ邑長ヲシテ其事ヲ擔任セシム

一村ヨリ一區ヲ作ル場合ニテハ郡總代ハ村ノ輔佐人ノ内一人ヲ選

ヒ前以テ區長タル村長ノ代理人ト爲サシム可シ

五項六項ノ場合ニ於ケル郡總代ノ決定ハ終審ナリトス

Ⓢ 地方行政權限法第五十四條ヲ以テ本條ヲ補ヘリ則第五十四條郡總代ハ郡規則第四十七條ノ四項五項六項ニ從テ選任ス可キ區長代理人ヲ定ムヘシ

第四項ノ場合ニハ州輔佐官ニ故障ヲ申立ルコトヲ得第五項第六項ノ場合ニ於テハ郡總代ノ決シタルコトハ終審トシテ他ニ故障ヲ爲スコトヲ得ス

派出區長ヲ命スル事

第四十八條 郡會ヨリシテ區内ニテ區長タル可キ人之レナキト述ヘ且近傍ノ區長又ハ近傍ノ邑長ニ一時ノ代理ヲ委托スルコト能ハサル

場合ニテハ州長ハ郡總代ノ申立ニ因リ派出區長ヲ命ス可シ

邑長ニテ近傍ノ區ノ行政事務ヲ引受クルニハ邑會ノ許可アルコトヲ要ス

其時ノ模様ニ從テ派出區長ハ二箇以上ノ區ノ行政事務ヲ擔任セラ
ル、コアリ

區長ノ職務ノ事

第四十九條 區長ハ左ニ掲クル事務ヲ主ル可シ

- 一 安寧保護風俗健康備人貧窮人又ハ道路水上田畑山林魚獵營業建築消防等ニ關スル警察事務但別段ノ法律ヲ以テ郡長又ハ他ノ官吏ニ特ニ其事務ヲ命シタル者ハ格別ナリトス
- 二 此郡規則ニ定メタル其他區内公ノ事件

地方行政權限法第百十五條第一項ヲ以テ本條ヲ補ヘリ則第百十

五條第一項千八百七十二年十二月十三日ニ發シタル郡規則第四

十五條ニ從テ區長ニ任シタル水上警察ノ内ニハ大河ニ關スル警

察航船又ハ港口ノ警察ハ其内ニ含蓄セサルモノトス

第五十條 區長ハ公ノ安寧保護ヲ保ツ爲メニ至急ノ所分ヲ必要ナリ

トスルハ其所分ヲ定メ之ヲ行ハシムルノ權利義務アリ(地方行政權限法第三十三條ヲ參看ス可シ)

區長ハ公ケノ道路ニ關シテハ能ク整頓シテ往來ノ妨害トナラサル様注意ス可シ區長ハ他人ヲシテ道路整頓ノ爲メ其義務ヲ盡サシム可キ場合ニハ其者ニ至當ノ期限ヲ定メ之ヲ督促ス可シ其義務者ニ於テ故障モ申立テスシテ其期限ヲ經過シテ猶ホ其義務ヲ

果タサ、ルキハ其者ノ費用ヲ以テ區長ヨリ餘人ニ命シ道路ノ障
 害ヲ除キ従前ノ姿ニ復セシムヘシ若シ至急ノ所分ヲ要スル場合
 ニシテ義務者ニ期限ヲ與フルコトノ猶豫ナキキハ預メ督促スルコ
 ナク區長ヨリ直チニ之ヲ整頓セシム可シ
 道路ノ事ニ關シテ義務者ニ於テ其義務ヲ盡スコトヲ肯ンセサルキ
 區長ハ其意見ニ於テ其事柄ノ裁判確定マテ猶豫ス可カラサルコ
 ヲ察スレハ直ニ必用ナル所分ヲ爲スヘシ且同時ニ關係者立會ノ
 上其肯ンセサル所ノ要點ヲ書面ニ認ムヘシ若シ義務ナシト言フ
 カ又ハ義務ノ多少ニ付不同意ヲ言フカ又ハ公道ナルトカ私道ナ
 ルトカニ付爭議ヲ生セシキハ區長ハ對審裁判ノ時裁判所ニ於テ
 公益ノアル所ヲ答辨ス可シ

區長又ハ邑長ハ前項ノ場合ニ於テ裁判所ニ提出セサル前義務者
 ト協議ヲ遂クルモ仍ホ協議ノ整ハサル時前ノ要點ヲ記シタル書
 面ニ意見書ヲ添ヘテ之ヲ郡總代ニ差出ス可シ郡總代ハ第二百十
 八條第二ノ第一ニ從テ假リノ裁判ヲ爲スヘシ(第二百二十八條
 第二ノ第一〔第二〕道路警察事件〔第一〕郡總代ハ道路ニ關スル爭
 ニ付キ郡規則第五十一條ニ從ヒ一時ノ始審裁判ヲ爲スコト左ノ如
 シ

④ 公ノ通行ニ關シ必ス作り設ク可キヤ否ヲ裁判ス此判決ニ對シ
 テハ通常裁判ヲ請求スルコトヲ得ス然レモ十日内ニ縣行政裁判
 所ニ控訴スルコトヲ得

⑤ 何レノ費用ヲ以テ其必要ナル所分ヲ爲シ得可キヤ且一方ニ對